

第七十九回  
貴族議會院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案特別委員會議事速記錄第二號

昭和十七年一月七日(土曜日)午前十時

二分開會

昭和十七年二月七日(土曜日)午前十時十二分開會  
○委員長(伯爵酒井忠正君) 是ヨリ開會致シマス、此ノ際御諮り致シタイプノデアリマスガ、委員外議員トシテ松村眞一郎君カラ質問シタイト云フ申出ガアリマス、適當ナ時期ニ御許シシタラ如何カト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

○委員長（伯爵酒井忠正君） ソレデハ左様  
計ヒマス

○千石興太郎君 私ノ御伺ヒスルコトハ、ツデアリマス、一ツハ食糧ノ自給ト云フコトヨ  
トデ、一ツハ農業人口ト云フコトデアリマス、是ハ今迄大臣ガ衆議院ノ方デモ色々御  
答ニナツテ居ルシ、ソレカラ又本委員會ニ於  
テモ御答ニナツテ居リマスルガ、此ノ事バ相  
當農業ニ取リマシテ、又日本ノ國ニ取ツテモ  
重大ナ問題デアリマスカラ、更ニ甚ダ重複  
致スカモ知レマセヌケレドモ、此處デ改メ  
テ御伺ヒラシテ見タイト思フノデアリマス、  
サウシテ政府トシシテノ言明ト申シマスカ、  
之ヲ一ツ御願シテ見タイト思ヒマス、第一  
ニ食糧ノ自給自足ト云フ問題デアリマスガ、  
是ハ食糧ト申シマスト、主要食糧ハ米ト麥、  
ソレニ芋類ヲ加ヘテ宜シイノデアリマス  
ガ、先ヅ此ノ米麥ニ付キマシテハ、國民ノ  
消費致シマスルモノハ、國內デ以テ自給ス  
ル、所謂食糧ノ自給自足ト云フコトハ、是  
ハ從來カラシテ政府トシテハ、之ガ完遂ラ  
期セラレテ居ルコトデアリマス、又特ニ支

モ、之ニ向ツテハ政府ガ全力ヲ集中セラレ  
事變勃發以來引續キ現在ニ於カレマシテ  
居リマスルコトハ、是ハ私共ノ承知シテ  
居ル所デアリマス、今ヤ大東亞戰爭ガ、戰  
果ガ急激ニ進展致シマシテ、南方圈ハ日本  
ノ國ノ領土若クハ勢力範圍トナリマシタ結  
果ト致シマシテ、佛印ヤ「タイ」カラハ米ノ供  
給ハ確保サレルト云フコトニナツタ譯デア  
リマス、勿論は現在ニ於テ輸送關係ガア  
リマンシテ、サウモ行キマスマイケレドモ、  
兎ニ角將來ニ於テハ確保サレル更ニ又「ビ  
ルマ」ニ於テモ近キ中ニハ同様ナコトニナリ  
マスト思ヒマスガ、ソンナ結果ト致シマシ  
テ、世間デハ安イ米ガ南方カラ自由ニ來ル  
ト云フヤウナ話ガ段々傳ハシテ居リマス、消  
費者側トシテモ非常ニ安心ラシ、將來ニ對  
シテ明朗ナ考ヲ持ツト云フヤウナコトニ  
ナツテ居リマス、從ヒマシテ將來ハ日本デ  
米ヲ作ルヨリハ南方ノ方ノ米ノ増産ヲ圖レ  
バ、高イ日本ノ米ナドハ問題ニセヌデモ宜  
イト云フヤウナ極メテ淺薄ナ、打算的ト申  
シマスル方、何事モ算盤デ以テ當ツデヤリサ  
ヘルベ宜トイ云フヤウナ議論ヲスル者モ  
起リサウナ心配ガアルノデアリマス、是ハ  
昔モソンナコトガアツテ、農業者側トシテ  
モ、又政府トシテモ、相當御心配ニナツタ  
コトガアルノデアリマス、コンナ馬鹿々々  
シイ話ハ先ヅ是ハ杞憂トシテ別ト致シマシ  
テ、此ノ際農業者ノ頭ニ、米ハ南方カラ幾  
ラデモ來ルノデアルト云フヤウナ觀念ト申  
シマスルカ、サウ云フコトガ農業者ノ頭ノ

ニ重大ナコトデアラウト存ジマス、今迄折角死力ヲ盡シテ増産ニ精勵致シテ居リマス所ノ農家ノ精神ニ、マア鱗ガ入ルト云フヤウナコトニナリハセヌカト私ハ非常ニ惧レルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ際政府ト致シマシテハ南方農業問題ニ對スル方策ヲ検討スル、又ソレヲ御決定ニナルニ當リマシテハ先ツ以テ此ノ日本農業ノ特異性ト、ソレカラ重要性ニ付テ再検討ト申シマスルカ、ソレヲ再検討シ、サウシテ其ノ國家的ノ重要性ヲ國民又殊ニ農民ニ對シテ確認セシムルト云フコトガ、此ノ際ニ於テ極メテ是ハ緊要ナトデアラウト私考ヘルノデアリマスハソレニ付キマシテモ此ノ食糧ノ國內ニ於ケル自給自足ト云フコトノ意義ヲ、是ハ明確ニシテ戴キタイト思フノデアリマス、是ハモウ大臣ガ度々其ノコトニ付テハ觸レテオイデニナルノデアリマスガ、私ハ先づ第一ニ國民ノ食糧ト云フモノハ、是ハ大臣ノ仰シヤル通り日本ノ農業、内地、外地ヲ含シシテ日本ノ農業デ以テ自治スルト云フコトガ、是ハモウ我ガ國トシテノ不易ノ國策デアルト存ズルモノデアリマス、サウ云フヤウナコトカラシテ此ノ際政府トシテ此ノコトヲハッキリト措置デアルト存ズルノデアリマス、固ヨリ此ノ日、滿ヲ共通致シマシテノ農業政策、又日、滿、支ヲ共通致シマシテノ農業政策

ヲ確立スル、更ニ進シテハ大東亞共榮圈ヲ通ジテノ農業ニ對スル方策ヲ決定スルト云  
フコトハ是ハ當然必要ナコトデアリマス、  
必要ナコトデハアリマスルガ、第一次的ニ  
ハ日本國內ノ農業政策ヲ確立シテ戴クコ  
ト、而モ其ノ中樞トシテハ後ニ申シマスル  
人口問題モ關係シマスルケレドモ、先ヅ其  
ノ中樞トシテハ米麥ノ如キ主要食糧ハ國内  
ニ於テ内外地ヲ通ジテソレヲ自給スルト云  
フコト、即チ主要食糧ノ國內自給ノ原則ヲ、  
此ノ際政府トシテ國民ニ對シテ確認セシ  
ムル、又近頃ノ言葉デ申シマスレバ再確  
認セシムルコトガ我が國ノ農業、農民ノ爲  
ニ、又國家ノ爲ニ是ハ緊要ナコトデアラウ  
ト私存ズルノデアリマス、之ニ付テハ農林  
大臣モ今迄色々々機会ニ、國內ノ食糧ハ國  
内デ自給セナケレバナラスト云フコトヲ仰  
シテ居ルノデアリマスルケレドモ、此ノ  
際一ツ其ノ點ヲ明確ニ、政府トシテハ國民  
ノ主要食糧ハ國內デ以テ自給スルノデア  
ルト云フコトヲ、一ツ闡明シテ戴イタラ  
バ、甚ダ満足致ス次第アリマス、其ノ點  
ヲ伺ヒマス

ヲ確立スル、更ニ進シテハ大東亞共榮圈ヲ通ジテノ農業ニ對スル方策ヲ決定スルト云  
フコトハ是ハ當然必要ナコトデアリマス、  
必要ナコトデハアリマスルガ、第一次的ニ  
ハ日本國內ノ農業政策ヲ確立シテ戴クコ  
ト、而モ其ノ中樞トシテハ後ニ申シマスル  
人口問題モ關係シマスルケレドモ、先ヅ其  
ノ中樞トシテハ米麥ノ如キ主要食糧ハ國内  
ニ於テ内外地ヲ通ジテソレヲ自給スルト云  
フコト、即チ主要食糧ノ國內自給ノ原則ヲ、  
此ノ際政府トシテ國民ニ對シテ確認セシ  
ムル、又近頃ノ言葉デ申シマスレバ再確  
認セシムルコトガ我が國ノ農業、農民ノ爲  
ニ、又國家ノ爲ニ是ハ緊要ナコトデアラウ  
ト私存ズルノデアリマス、之ニ付テハ農林  
大臣モ今迄色々々機会ニ、國內ノ食糧ハ國  
内デ自給セナケレバナラスト云フコトヲ仰  
シテ居ルノデアリマスルケレドモ、此ノ  
際一ツ其ノ點ヲ明確ニ、政府トシテハ國民  
ノ主要食糧ハ國內デ以テ自給スルノデア  
ルト云フコトヲ、一ツ闡明シテ戴イタラ  
バ、甚ダ満足致ス次第アリマス、其ノ點  
ヲ伺ヒマス

10. The following table summarizes the results of the study.

鑑ミマシテモ、ドウシテモ此ノ内外地ヲ通ズル日本農村ヲ護シテ行カナケレバナラヌ、而モ其ノ日本農村ヲ守リ立テ行クニハ、ソコデ主要食糧ノ生産ヲサセルト云フコトカラ考ヘマシテモ必要デアリマス、又大東亞共榮圈確立後ニ於キマシテモ、海ヲ隔テ帝國ノ食糧ヲ他ニ依存スルト云フコトハ、矢張リ極力避ケテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマスノデ、ドウシテモ内外地ヲ通ジテ食糧ノ自給自足計畫ヲ樹テル、此ノ兩方ノ觀點カラ今申シタヤウナハッキリシタ方針ヲ此ノ際政府トシテモ持ッテ居ルノデアリマス、農林大臣兼拓務大臣トシテ、私ハ此ノ問題ヲハッキリ申上げテ居リマス以上、是ハ政府ノ所信デアリマシテ、今回食糧管  
理法案ヲ政府ノ法案トシテ提出致シマシタノモ、其處ニハッキリシタ意思ヲ表明シテ居ルノデアリマス、即チ食糧管理法案ハ其ノ第一ノ目的トスル所ノ食糧統制強化ト云フコトニ付キマシテハ、農民ニ安ンジテ米ヲ作ツテ貰ヒタイ、昔ノヤウニ米ガ餘ツテ來レバソレヲ抑制シテ價格ヲ非常ニ變動セシメテ、農民ノ經濟ヲ不安ナラシムルト云フヤウナコトハ絶対サセナイ、兎モ角食糧ハ自給自足シテ行クノデアルカラ、農民ハ出来ルダケ増産シテ貰ヒタイ、出來タ米ハ全部政府ガ買フト云フ態勢ヲ示シマシタノモ、今申シタヤウナ重要ナル觀點カラ出發致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ政府ノ提出法案トシテハッキリ其ノ趣旨ヲ表シテ居リマスカラ、其ノ點ハ國民モ能ク今日デハ理解シテ居ラル、コトト考ヘルノデアリマ

テ、政府トシテハ今後ニ於テモ無論主  
食糧ハ國內デ以テ自給スルト云フ原則ト言  
ヒマスルカ、政策ト申シマスルカ、ソレヲ  
堅持シテ行クト云フコトニ付テ、ハッキ  
リトシタ御言明ガアリマシテ、私満足致  
シマス、サウ致シマスレバ、今後此ノコト  
ヲ實際ニ於テ一つ現實化スルト云フコト  
ガ、之ガ問題デアリマシテ、之ニ付キマ  
シテハ今迄農林省トシテモ種々ナ施策ヲ  
ヤツテオイデニナルシ、又恐ラクハ今後  
モ農林大臣ハ色々根本的ナコト、昨日來  
他ノ委員カラモ色々御質疑ニナツテ居ルヤ  
ウナ農地問題デアルトカ、或ハ自作農創設  
ノ問題トカ、或ハ保険ノ問題トカ、其ノ他  
色々ナ問題ニ付テ御考ヘニナツテ、又急ヲ要  
シ、重要ナコトハ此ノ次ノ議會ニデモ御出  
レデ以テ満足致シマシタ、次ニ御伺ヒシタ  
シニナツテ、サウシテ益、此ノ政策ヲ御實現ニ  
ナルコトト存ジマシテ、第一ノ質問ハ私ゾ  
タ農民人口ノコトデアリマス、内地ノ農民  
人口ハ是ハ國防上ヨリ見マシテモ、或一定  
ノ數ハ必ず確保シナケレバナラヌモノデア  
ルト私ハ自分でサウ思ツテ居ルノデアリマ  
ス、固ヨリ今後ニ於キマシテ益、增加スペキ  
シナガラ其ノ一定數ト云フモノハ、是ハ農  
民トカ何トカ言ハズニ、全體ノ國民カラノ  
供給ニ俟ツベキコトハ當然デアリマス、併  
シナガラ其ノ一定數ト云フモノハ是非トモ  
之ヲ農民人口ヨリ供給セシムルト云フコト  
ガ、將來トモニ堅持サルベキ國策デアルト  
私ハ存ジテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ  
内地ノ農民人口ヲ啻ニ此ノ食糧増産ノ面、

又農業經營ノ面、農家經濟ノ面等ヨリ見ルダケデナク、國防上ノ面カラ見ルコトハ、國家トシテ最モ是ハ重要ナコトデアリマシテ、言ヒ換ヘマスレバ確保ザルベカラザル此ノ内地ノ農民人口數ハ、國防上ヨリ檢討シテ決定サレナケレバナラヌモノデアラウト思フノデアリマス、政府ニ於カレマシテハ曩ニ人口對策要綱デゴザイマンタカ、アレヲ御發表ニナリマシタ其ノ中ニ、確カ總人口ノ四割ハ之ヲ農村ニ確保スルト云フ風ニ示サレテ居リマシタ、併シナガラ此ノ四割ノ人口ト云フモノヲ内地ダケデ確保スルノカ、或ハ又日、満、支ヲ通ジテ確保スルノカ、私思ヒ違ヒガアルカモ知レマセヌケレドモ、マスルケレドモ、私ハハッキリトソレハ示サレテ居ラナカッタト記憶シテ居リマス、是ハト云フコトヲ言ハレタヤウニ速記錄デ見テ農林大臣ハ衆議院ノ豫算委員會ニ於カレマシテ、日、満、支ヲ通ジテ四割ヲ確保スル又ハ日、満、支ヲ通ジテ四割ト致シマシテモ、先ツ第一次的ニハ日本内地ニ於テ何割居リマス、私ハ假リニ日、満ヲ通ジテ四割、又ハ日、満、支ヲ通ジテ四割ト致シマシテヲ確保スルカ、全體ノ國民數ノ中デ農民ノ數ヲ日本内地ニ於テ何割確保スベキモノデ要デアルノデハナイカト存ズルノデアリマス、而シテ其ノ割合ハ今申上ゲマシタ通り、アルカト云フ、大體ノ基準ヲ第一次的ニ定メテ行クト云フコトガ、是ハ國家トシテ必ナイカト存ジマス、此ノ點ハ是ハ軍ノ方ノ御意見モアルノデアリマセウガ、ソレニ對シマシテモ農林大臣トシテノ御所見ヲ伺ヒタインデアリマスルシ、又幸ニシテ其ノ點ニ付テ政府トシテ斯ウ云フ風ニ決シテ居ルノダト

云フコトガ伺ハレ、バ、ソレハ尙結構デアリマシテ、其ノ方策ガ宜シキヲ得マスレバ、北満ニ移植シマシタ所ノ農民ハ日本農民トシテノ純潔性ト申シマスルカ、或ハ純潔性ト申シマスルカ、ソレヲ保持スベキモノデアルトハ信ジマス、併シナガラソレニ致シマシテモ、是ハマニア二代三代ト云フ持續サレテ行クカドウカト云フコトハ、是風ニナツテ來レバ、其ノ大和民族トシテノ純潔性ガ日本内地ニ於ケルモノト同ジヤウニハ今ノ所デハマダ分ラヌノデアリマス、此ノ點ニ於テハ相當ニ疑問ノ餘地ガアルノデハナカラウカト存ジマス、況ヤ今後南方ニ日本農民デモ移住セシメルト云フコト、是ハ南方ニ日本農民ヲ移植スルト云フコトハ相當大キナ問題デアリマス、私ナドトシテモゾレニ付テハ相當ノ考モアリマスガ、是ハ申シマセヌ、若シ南方ニ日本農民ヲ移植スルト云フヤウナコトガアリト致シマスレバ、今申上ゲマシタ點、大和民族ノ純潔性ト云フコトニ付テノ點ハ、是ハ更ニ大キナ問題ニナツテ來ルノデヤナカラウカト存ジマス、チヨット一例ヲ分リ易ク申シマスレバ、例ヘバ稻ニ付キマシテ澤山ノ收穫ガ取レ、又品質モ良イ米ヲ澤山取ルト云フ時分ニハ、育種試験ノ結果トシテ得マシタ所ノ良種ハ、原原種田ヲ作り、更ニ原種田ヲ作ツテ、年々原種ヲ育成シテ、ソレヲ採種田ニ送ツテ、其處デ一般ニ栽培スル種ヲ作ツテ、之ヲ農民ニ使用サセルト云フコトニナツテ居リマスガ、私ハ日本國民ノ純潔性ヲ維持スル爲ニハ矢張リ内地ノ農民人口ト云フモノガ原原種田又ハ原種田タルノ役目ヲ果スヤウニス

ルコトガ、之が今後ノ日本民族ノ世界的發展ノ爲ニ、世界ト言ツテハ大キイカモ知レマセヌガ、大東亞ニ發展スル爲ニ根本問題ヲ爲ナスマモノデアラウト思フノデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテモ農林大臣トシテノ御所見ヲ伺ヒタインオデアリマス  
○國務大臣（井野頼哉君） 大體私モ千石委員ト同シ考ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、我内地農村ガ大體今後ノ國力發展ノ人的資源ノ上ニ於テ其ノ涵養地トナル大キナ責任ヲ持ッテ居ルト信ズルノデアリマス、然ラバ農村人口ヲ全人口ノ割合ニ比シテドノ位ニ保有スペキカト云フ問題ニ付キマシテモ、一應企畫院テ先般人口諸問題ノ對策ヲ策定致シマシタ時ニ、全人口ノ四割ヲ保有セシメタイト云フ趣旨ノ決定ヲ見タノデアリマス、勿論此ノ數字ハ其ノ當時ノ農村ノ事情ハ全人口ニ比シテ大體四割程度デアリマシタノデ、詰リ現有人口ヲ農村ニ其ノ儘保有スル、今後人口増加ニ伴ツテ其ノ割合ヲ保有セシメタイト云フ趣旨カラ決ッタヤウニ聞イテ居リマスシ、又私共モ其ノ點ハ是非最小限度農村ニ保有セシメタイト云フ希望ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、然ラバ其ノ四割ト云フ數字ハ内地ダケデ保有スルノカ、滿洲又ハ支那等ノ地域迄入レテ、日本農民ガ滿洲或ハ支那ニ開拓民トシテ供出セラレタモノモ含メテ四割ト見ルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ大體出來レバ無論内地ダケデ保有スルコトガ一番宜イノデアリマスケレドモ、内地ハ御承知ノヤウニ耕地面積モ限ラレテ居リマスシ、現在ノ農業經營ハ寡少農デアリマス爲ニ、農民トシテモ經營上非常不利不便ガアルノデアリマスルカラ、之ヲ適正規模ノ農家ニ漸次直シテ貰ヒタイト

云フ氣持デ色々指導致シテ居ルノデアリマス、従ツテ全人口ノ四割ヲ内地デ保有スルトシマスト、適正規模ノ農家トノ經營條件ガ矛盾ヲ來タシテ來マスノデ、是等ノ兩矛盾點ヲ緩和シツ、而モ尙我國ノ農村人口ヲ四割保有シヨウト云フノニハ、ドウシテモ滿洲ノ開拓民問題ヲ考慮ニ入レナケレバナラナイノデアリマス、ソコデ先般國策トシテ決定シマシタノハ二十箇年間ニ滿洲ニ百萬戸ノ農村人口ヲ送ルト云フコトニナッテ居リマス、デアリマスカラ、百萬戸ハ取敢ズ滿洲デ以テ日本ノ農村人口ヲ養フ、サウシテ而モ其ノ満洲ノ開拓民ト云フモノハ内地ノ鄉土ノ所謂分村デアリマシテ、日本ノ各村々ガ満洲ニ分レテ行クト云フ觀念デアリマスカラ、一ツノ矢張リ日本内地農村ノ延長ト見テ宜イノデヤナイカト思フノデアリマス、デスカラサウ云フ人口ヲ内地農村人口ト合セマシテ、サウシテ全人口ノ四割ト云フモノヲ保有シテ行クト云フ方針ヲ執ツテ參リマスレバ、假ニ内地人口ノ四割ガ四百萬戸ト假ニシマスレバ、百萬戸ヲ満洲ニヤレバ三百萬戸ヲ内地デ保有スルト云フコレガ三百萬戸ニナリマスレバ、二町歩前後、或ハ三町歩近イト思フモノガ適正規模ノ農家ニナッテ來ルト云フ計算ニナッテ來マスノデ、我々ガ考ヘテ居リマスレバ、併シサウ云ツタヤウナ氣持ト合ツテ來ル、デアリマスカラ、サウ云ツタ方針ニ今後進ンデ、サウシ

テ農村人口ノ全人口ニ對スル割合ヲ保有シ  
テ行ク方途ガ立チ得ルノデハナイカト云フ  
見透シヲ持ツテ居リマス、從ツテ現在デハ南  
方ニ於ケル所ノ大量ナル農業移民ト云フ問  
題ハ現在ハ考ヘテ居リマセヌ、是等ノ農村  
デ養成セラレマシタ所ノ立派ナ大和民族ヲ、  
必要ニ應ジ南ヘ計畫的ニ移民スルト云フ、今  
後ハ方針ニ進ンデ行クベキデハナカラウカ  
ト考ヘテ居リマス

○千石興太郎君 農林大臣ノ御話ハ、私モ  
ハッキリト了解致シマシタ、唯私ハ先程申上  
ゲマシタ内地ノ農民ノ人口ト云フモノニ付  
キマシテハ、是ハ國防上カラドウ云フ風ニ  
政府ガ考ヘテ居ラルヽノカ、國防上カラ見  
テモ矢張リ今農林大臣ノ御話通リデ、是ハ  
モウ政府トシテモノレデヤツテ行ツテ宜イモ  
ノデアルト云フ御確信ガ付イテ居ルトスレ  
バ、是ハ結構デアラウト存ジマス、而シテ  
ソレハソレト致シマシテ何レニ致シマシテ  
モ此ノ内地ニ於テ殘シテ居ル所ノ農民ノ人  
口數ト云フモノハ、是ハ先程申上マゲシタ  
通り、是ハ北滿ナリ或ハ將來南方ニ移植ス  
ル所ノ農民ノ原々種若シクハ原種ニナル所  
ノ大和民族デアリマスルカラ、是等ニ對シ  
マシテノ保健問題トカ、厚生問題、或ハ又  
文化問題、文化問題ト申シマシテモ私ハ近  
頃流行ルヤウナ唯何ト申シマスルカ、全  
面的ナ文化ト云フ意味デヤナク矢張リ農  
民、農村ニ適合シタ所ノ文化、例ヘバ農  
民ノ生活水準ヲソレヲ向上スルト云フニ  
シマシテモ、矢張ト農村ノ農民トシテノ  
生活水準ト云フコトデ以テ考ヘテ行カナケ  
レバナラヌト存ジテ居リマスガ、兎ニ角  
サウ云フヤウナ方面ニ於テ十分一ツ今後施  
策ヲ完全ニ致シテ戴キマシテ、今度ノ議會

ニモ厚生省ノ方カラハソレ等ニ付テハ色々  
ナ案ガ出テ居リマスルガ、兎ニ角農林省ト  
シテモ、十分サウ云フ點ニ於テハ御考ヘヲ  
願ツテ、サウシテ本當ニ、心身共ニ健全ナル  
所ノ農民人口ヲ、國家トシテ必要ナ數ダケ  
ハ必ズ確保シテ行ケルト云フ風ニ、農林大  
臣トシテモ今後十分ナ一ツ御考ヘヲ御願ヒ  
致シタイト存ジマス、私ノ質問ハ是デ以  
テ終リマス

○佐藤助九郎君　只今ノ千石委員ノ仰セラ  
レマシタコトニ關聯シマシテハ、私モ至極  
同感デアリマス、今回御提出ニナリマシタ  
食糧關係ノ法案ハ、大體見マスルニ、專ラ食  
糧管理ト配給ヲ主眼トシタモノデアリマシ  
テ、現在ノ國情カラ見マスト、最モ火急ナ  
問題ハ、此ノ管理ヤ配給ノ問題デハナク、  
自給對策デアリ、増產對策デアルト考ヘル  
ノデアリマス、之ガ順調ニ行キサヘスレバ、  
自ラスカル法案ノヤウナモノハナクテモ宣  
イノデヤナイカト考ヘテ居ル次第デアリマ  
ス、私ハ此ノ增產對策ニ付テ二三政府ノ御  
意見ヲ承ツテ見タトイト思フノデアリマス、  
第一點ハ全國ノ農事試驗場ヲ強化シテ、  
之ヲ全部國營ニシテ、各地々々ニ今少シ是  
ヲ殖ヤシ、少クトモ一郡ニ一箇所位ノ程度  
ニ殖ヤシマシテ、現在ノ農民ノ模範ト爲シ、  
有ラニユル方面カラ農村ヲ指導シテ下サルコ  
トガ、此ノ增產對策トシテ最モ緊要ナ問題デ  
ハナカラウカト考ヘルノデアリマス、現在ノ  
各府縣ノ農事試驗場ヲ見マスルニ、先ヅ大體  
ニ於テ一縣一箇シカアリマセヌ、是等ノ様子  
ヲ見マスト、大抵ハ小規模ナモノデアリマシ  
テ、八百屋主義ノ何デモ屋デアリマス、而シテ此  
ノ重大時局ニ直面シナガラ此ノ食糧問題ニ  
ハ大シタ役割ヲシテ居ラナイノヲ非常ニ遺憾

ト思<sup>ツ</sup>テ居ルノアリマス、私ハ是等ヲ全部農林省ノ直轄ニナサイマシテ、技術的ニ、又經濟的ニ眞ノ農民ノ指導者トナリ、「リー<sup>ダ</sup>」トナッテ、今年ノ米作ハ此ノヤウニヤレ、麥作ハ此ノヤウニヤレ、肥料ハ斯クノ如ク用フベシ、副業ハ斯クノ如クシテヤレト云フヤウニ、現實ニ模範ヲ示シテ御指導下サッタラバ、増產對策モ完全ニ行ハレルノデハナイカト思フノデアリマス、北陸等ニ於キマシテモ大臣ハ麥ヲ獎勵ナサレテ居リマスルガ、實ヲ申シマスルト、耐雪性ノ麥ハ未ダニ完成シテ居ラナイノデアリマス、稻ニ付キマシテモ亦昨年ノ冷害ニ對スル様ナ強靭ナモノガ何等改良セラレテ居ラナイノデアリマス、若シ各郡ニガッチリシタ研究所ガアリ、模範農場ガアツタナラバ、是等ノ天然ノ災害ヲ完全ニ克服シ、昨年ノ如キ慘メナ減產ハナカツタデアラウト考ヘルノデアリマス、今日單ナル低位農家指導員ヤ篤農家ヤ、僅カニ各郡ニ一箇シカナイ試驗場デハ斯クノ如キ重大ナ問題ヲ委シテ置イテハ先づ不可能デアルト思フノデアリマス、私ハ少クトモ一郡ニ一箇所ノ國營ノ模範農場ヲ御造リニナッテ、技術ノ優秀ナル指導者ヲ置キ、經濟的ニ指導シ、又時ニハ之ヲ精神道場トシテ、或ハ娛樂機關ノ一部ヲモ備ヘテ、只今千石委員ノ仰セラレタ通り、健全ナル農民ヲ指導育成サレルノガ最モ望マシイコトト考ヘルノデアリマス、最初ニ先づ此ノ點ニ付テ大臣ノ御意嚮ヲ承<sup>シ</sup>テ見タイト思ヒマス

指揮ヲシタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ無論ソレ迄行ケバ完全デアラウトハ考ヘマス、併シ現在農事試験場ト云フモノハ中央ニ國立ノ農事試験場ガアリマシテ、大體品種ノ問題、栽培方法其ノ他ノ色々ノ化學、物理的試験、根本的試験ハ致シテ居ルノデアリマス、地方的ニ地方事情ニ依リマシテソレヲ修正モ致シ、又品種等ノ其ノ土地ニ於ケル栽培ヲ致シ、又土壤等ノ研究モ地方的ニ致シテ居ルト云フ色々ノ必要カラ、地方的ノ試験場モ存在シテ居リマスノデアリマスガ、是ハ國立ニ致シマス場合ニハ必ズシモ各府縣ニ一箇所ヅツ設ケナクトモ同ジ氣候ナリ、風土ヲ持ツテ居ル處ニ一箇所アレバ宜イノデハナカラウカ、サウ考ヘテ居ルノデアリマス、現在各府縣ニアリマスルノハ各府縣ノ經費ニ依リマシテ自ラ縣民ヲ指導スル爲ニ、縣トシテ試験場ヲ持ツト云フ斯ウ云フ建前ニナッテ居リマスノデ、是ハ私ハイ向其ノ進ミ方デ差支ナイト考ヘテ居リマスノデ、國自身ガ中心トナッテ力ヲ入レテ參リマスルノハ、數府縣ヲ一つノ「ブロック」トシタ地方ニ一箇所位設ケル必要ガアルンデヤナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、現ニ農林省トシマシテモ其ノ趣旨デ、或ハ奧羽試験地デアルトガ其ノ他ノ色々ノ國立試験地ヲ設ケテ居リマス、又雪ニ對シマシテ雪害ノ色々研究所モ設ケテ居リマシテ、大體現在ノ方針デ或程度ノ目的ハ達シテ居ルト思ヒマスガ、併シ勿論御話ノ通りマダ完璧トハ考ヘテ居リマセヌノデ、サウ云々タ試験場ノ今後ノ擴充ト云フコトニ付キマシテハ一層努力致シテ参リタイト考ヘテ居リマス、今御話ノ麥ノ耐雪品種又ハ稻ノ耐寒品種等ニ

付キマシテモ、現在何モ大シタモノハ出来  
テ居ナイヂヤナイカト云フ御話デアリマス  
ガ、マア陸羽百三十二號ノ如キハ相當ニ是  
ハ耐寒品種トシテモ稻ノ最近ノ優良品種ニ  
ナツテ居リマシテ、麥ノ耐雪品種ニ付キマ  
シテモ會津方面ノ麥ノ品種又新潟方面ニ  
相當耐雪品種ガ最近出來掛ツテ居リマシテ、  
是等モ漸次優良ノモノニ成リ得ルト信ジテ  
居ルノデアリマス、デアリマスカラ現在ノ  
機關ニ於キマシテモ品種改良ト云フ問題ハ  
非常ニ私ハ宜ク行ツテ居ル、今日米麥ノ增産  
ガ此處迄參リマシタノハ確カニ農事試験場  
ヲ通ジテノ品種改良ト云フ問題ガ大キナ解  
決ヲ與ヘテ居ルト信ジテ居ルノデアリマス、  
デアリマスカラ是以更ニモット良クスル  
コトニ付テハ努力致シマスケレドモ、今迄  
ノ農事試験場ガ此ノ爲ニ餘リ貢獻シテ居ナ  
カッタト云フ見方ハ少シ酷デハナイカ、十分  
今後モ斯ウ云フ方面ニハ出來ルダケ一ツ努  
力ヲ致シマシテ、増産ニ資シタイト考ヘテ  
居ル次第デアリマス

精神道場トシテ、或ハ時ニハ娛樂機關ノ設備モ設ケテ、農民精神ヲ茲ニ指導スルコトモ出來ルノデ、特ニ之ヲ切望シテ居ル次第デアリマス、今日各地ヲ見テ見マスト、色々ナ道場ガアリマシテ、恰モ右傾ノ養成所ノヤウナ農民道場ナドヲ見受ケルノデアリマス、詰リ精神ダケヲ吹キ込ンデ、技術ヤ經濟的ノ問題ハ教ヘテ居ラズ、爲メニ何ダカドウモ變ナ人間ガ生レテ來テ、實際鍛モノ持タズニ、農村ニ來テ豪語シテ居ルヤウナ傾向ヲ偶々見ルノデアリマスノデ、之ヲ非常ニ遺憾ト思ヒマシテ、少クトモ一郡ニ一箇所ノ試驗場ヲ設ケテ、國家自ラ農民ニ範ヲ示シ、「リーダー」トシテ改善サレルノガ、最モ適當デヤナカラウカト考ヘルノデアリマス、昨年ハ三千萬圓ノ開拓營團ガ生レマシタガ、此ノ資料ヲ取ッテ見マスト、八萬町歩ノ豫定デアッタニモ拘ラズ、辛ウジテ五萬町歩シカ開拓シテ居ナイト云フ風ナ報告ヲ頂戴シテ居リマスルガ、斯クノ如キ迂遠ナコトヲヤルヨリモ、直接ノ問題デアル斯ウ云フ風ナ大キナ問題ヲ先ニ解決サレル方ガ宜イノデハナイカ、假リニ一郡ニ十萬圓程度ノ經費デ試驗場ガ出來ルナラバ、五千萬圓程度アレバ各縣ニ十箇所位ノモノガ出來ルノデアリマス、經費カラ言ツテモ極ク簡単デアリマス、昨年豫備金カラ三千萬圓獎勵金ガ出来マシタノデアリマスルガ、内低農家指導費トシテ五百圓程ノ額ガ見受ケラマス、斯クノ如キモノヨリカ、矢張此ノ方ガ寧ロ増產策トシテ適當デナカラウカト考ヘル次第デアリマスルガ、ドウカ十分御考慮ヲ願ヒタト思ヒマス、第二點ハ政府ノ獎勵金トカ、助成金ノ問題デアリマスルガ、今年度ノ豫算ヲ見マスルト生産獎勵金トシテ

糧增産ニ關スル經費トシテ五千七百五十萬圓計上シテアリマスルガ、此ノ交付ニ付キマシテハ、今迄ノヤウニ種々雜多ナ項目デ交付サレルト、誠ニ農村トシテハ、此ノ爲ニ繁文縟禮ニ終リ、有難迷惑ヲ感ズル場合ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ宜シク各縣各地ノ事情ニ即シマシテ、重點主義ニ交付シ、助成シ、獎勵サレルノガ最モ至當デキマシテハ用水ノ修理、溜池ノ増築ノヤウナモノニ重點ヲ置キマシテ、地下水ノ近イ沿地帶ニハ、暗渠排水トカ色々ノ豫防設備ニ助成ス、畜產ノ不足ナ地方ニハ畜產ヲ向上セシムルト云フコトガ、増產對策トシテモ最モ緊要ナ問題デアラウト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大臣ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

マシテ十分マダ本省ノ趣旨ガ徹底シマセヌ  
ノデ、矢張リ劃一的ナ補助ノ進ミ方ヲ見テ  
居ル處モアリマスノデ、今年ハ一層其ノ點  
ハ豫算ノ編成ニ當リマシテモ考慮致シマシ  
タシ、又今後ノ運用ニ付キマシテモ十分留  
意シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○佐藤助九郎君 只今ノ大臣ノ御答辯ニ依  
リマシテ了承致シマシタガ、ドウカ一ツ各  
地方々々ニ即應シタ重點主義デ獎勵金ナリ  
助成金ヲ渡サレルコトヲ、此ノ際特ニ御願  
ヒシテ置ク次第デアリマス、助成金トカ、  
獎勵金ト云フモノハ、餘程ウマク御出シニ  
ナラヌト云フト、却テ害ガアッテ效ノナイ  
場合ガアリマス、場合ニ依ッテハ、一文モ  
戴カヌデモ宜イ場合モゴザイマス、卑近ナ  
例デアリマスルガ、例ヘバ東京郊外ノ水田  
ノ耕作状況ヲ見マスト云フト、我々カラ見  
テ實ニ手落ガアルノデヤナイカト思ハレル  
ノデアリマス、田面ノ不整備ナ點、或ハ農  
具ノ不完全ナ點、ソレカラ勞力ノ不經濟ナ  
點ナド澤山例ガアリマス、例ヘバ耕馬ニハ  
ロ引キガ一人、鋤ヲ取ル者ガ一人、一頭ノ  
馬ニ二人ヲ要スルナドハ我々ノ地方カラ見  
マスト、倍ノ人ヲ使テ居ル結果ニナリマス、  
農具ニシマシテモ植付ノ場合ニ、我々ハ既  
ニ三十年前カラ廻轉定規ヲ使テ居ルニモ  
拘ラズ、五十年一日ノ如ク繩ヲ張ツテ植エテ  
居ルヤウナ情況ヲ見マス、又主ニ東北地方  
ノ習慣デアリマスガ未ダニ通シ苗代ガ行ハ  
レテ居リマス、除草ニシマシテモ、此ノ邊  
ハ手デ除草シテ居リマスガ、我々ノ方デハ  
既ニ馬ニ除草器ヲ付ケテ大幅ニ除草ヲシテ  
ノ入念ナル指導ガ必要ダト考ヘルノデアリ

マス、斯ウ云フ風ニ兩々相俟ツテ低農家ノ「ベル」ガ上ルモノトシマシテ、假ニ一戸ニ石ノ增收ガ行ハレルトシマシタナラバ、全國デ五百萬石以上ノ增收ガ確實ニナルノデアリマス、ドウカ御當局ニ於カレマシテハ此ノ點ニ留意サレマシテ、有ラユル角度力ヲ御指導ニナラムコトヲ特ニ希望スル次第デアリマス、其ノ次ニ銘柄格差ノ全面的ノ撒廢ノ問題デアリマスルガ、是ハ昨年我々年來ノ主張ヲ御容レ下サイマシテ、整理ノ結果、先ヅ一圓程度ノ整理ガ出來マシテ、大變喜ンデ居ル次第デアリマスルガ、尙現在ハ高イノハ一圓ノ差ガアリマス、平均シマスト二三十錢餘ノ差ガアルノデアリマスルガ、現在ハ斤量制ニナッテ居ルノデアリマスルカラシテ、此ノ銘柄ハ全然無意味デアリマス、外米ノヤウナ「ビタミン」ノ含有量ナリ、其ノ他ノ營養量ガ全然缺ケテ居ルモノハ是ハ當然値ガ安クテ結構デアリマスルガ、斤量制ニナッテ居ル今日、中國ノ三等米デモ、關東ノ三等米デモ、或ハ北陸ノ三等米デモ、東北ノ三等米デモ、三等米デアレバ結局同ジデアリマス、然ルニ茲ニ一圓乃至三十錢ナリ、五十錢ナリノ差ノアルノハ甚ダ面白カラヌコトデアリマシテ、斯カル平和時代ノ遺物ハ速カニ撒廢サレテ、今迄差別待遇ヲ受ケテ居タ生産者側ニ均等ノ恩典ヲ興ヘラレムコトヲ希望スル次第デアリマス、尙序ニ申上ゲテ置キマスルガ、昨日ノデアリマシテ、此ノ點モ速カニ實現サレムコトヲ私ハ希望スル次第デアリマス、モナリマシタガ、私モ是ハ非常ニ贊成スルモノデアリマシテ、此ノ點モ速カニ實現サレウツ御伺ヒシテ御頼ヒ致シテ置クコトハ、

シテ居ル問題デアリマシテ、最近「メートル」法ニ依リマス、是ハ消費者ノミナラズ生産者モ非常ニ痛感法デアリマシテ、最近「メートル」法ニ依リマス、是ハ宜シク元ノ尺貫法ニ戾リ、日本古來ノ尺貫法ニオヤリニナル方ガ非常ニ宜イノヂヤナイカト思フノデ、此ノ點モチヨット附ヶ加ヘテ御所見ヲ承リタイト思ヒマス○國務大臣（井野碩哉君）銘柄格差ノ整理ニ付キマシテ、只今御述ノ通り、政府トシマシテ、モ此ノ度相當ノ改正ヲ致シ、大體從來御要望ニナリマシタ點ハ是正シタ積リデアリマス、併シ尙マダ不十分ノ點ガアルト云フ御意見デアリマスルガ、是モ色々物ソ改正ニハ順序ガアリマスノデ、餘り急激ナル改正ハ却ツテ現狀ニ離レルモノト思ヒマシテ、漸次改正スル積リデアリマスガ、併シ此ノ點ハ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマスルガ、矢張リ物ニハ良イ物ト、惡イ物モイ物トノ區別ハ付ケテ參リタイト思ツテ居ルノデアリマス、從ツテ良イ物モ、惡イ物モ同ジ格デ行クト云フ行キ方ハ、食糧ノ窮屈ナ場合ニハサウ國民ハ贅澤ヲ言ハナイデ、何デモ同ジモノヲ一ツノ品種トシテ考ヘテ行ケバ宜イノヂヤナイカト云フ議論モアリマスケレドモ、併シ私共ハ矢張リ國民ガ食ベマス物ノ中デモ國民ノ嗜好ニ極メテ合ツタ物ト、其ノ嗜好ノ遠イ物トノ間ニハ自ラ格差ヲ設ケテ行クトノ方ガ適當デハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ栽培ヲ致シマス農民ニ取りマシテモ、良イ物ヲ作ル場合ト、ソレヨリ惡イ物ヲ作ト云フ方針ヲ今後モ維持シテ參リタイト考

ヘテ居リマス、併シ各府縣ニ於ケル所ノ、唯縣ガ違フト云フノミニ存スル格差ノ如キハ、是ハ今後漸次は正シテ參リタイト考へマス、又米ノ販賣ニ當リマシテ「メートル」法ト尺貫法トノ問題ハ、是ハ唯米ダケノ問題デナク、「メートル」法ト尺貫法ヲ併用セシメルカ、ドウスルカト云フ、色々非常ニ根本的ニ複雜ナ問題ガアリマスノデ、此ノ點ハ私カラ今ドウスルト云フコトハチヨット申上げ兼ネルト思ヒマス、十分御意見ノ點ハ研究シテ見タイト思ヒマス

○男爵三須精一君 農地管理法ガ實施サレマシテ以來、空閑地ト云フモノガ各自付サレ、各會社、學校其ノ他團體ガ食糧報國團ト云フモノヲ組織シテ、農作物ヲ作テ居リマス、又小サナ面積ニ於キマシテハ隣組ト云ヤウナモノモヤツテ居リマスガ、此ノ指導方法ガ宜クアリマセヌノデ、可ナリ無駄ガアリ、結果ガ非常ニ宜クナイト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、此ノ指導方法ニ付キマシテ當局ハ如何ニ御考ヘニナツテ居リマセウカ、此ノ點ヲ……

○國務大臣(井野頼哉君) 空閑地ノ利用方法ニ付キマシテハ、政府トシテモ色々ノ方面カラ指導致シ、現在ニ於テハ相當有效ニ利用シテ居ルト信ジテ居リマス、大體二、三萬町歩ノ空閑地ガ利用サレテ居ルヤウニ統計的ニモ調べ上テ居リマス、殊ニ最近ニ於キマシテハ、都市ヲ中心トシテノ學生徒ノ運動ニ依ル空閑地利用、其ノ他都市ノ有閑階級ノ空閑地利用等、相當ナ實績ヲ舉ゲテ居ルヤウニ見テ居リマス、併シ中ニハ無論全國ニ亘ル問題デアリマスカラ、御話ノヤウナ缺陷モアラウカト存ジテ居リマスノデ、若シモサウ云フ點ガアリマスレバ、

今後ハ十分ニ注意シテ參リタイト思ヒマス○男爵三須精一君 尚第三點トシマンテ舊麥ノ問題デアリマス、舊麥ガ主要食糧ノ代用品トシテ相當榮養價值カラモ其ノ他カラ言ヒマシテモ良キモノト云フコトヲ聞イテ居リマス、之ニ對シマシテ政府ハ現在増産ノ御計畫ガアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(井野頼哉君) 舊麥ガ代用食トシテ非常ニ良イト云フコトハ私共考ヘて居リマスノデ、内地ニ於テ出來マスダケハ増産ヲ獎勵致シテ居リマス、唯現在ノ狀態ニ於キマシテハ、舊麥ノ種子ガ思フヤウニ手ニ入ラナイ、滿洲ノ舊麥ノ種子ガ非常ニ良いト思ヒマシテ、色々内地ニ持ッテ來テ試驗ヲシテ居リマスガ、ドウモ滿洲ノ舊麥ハマダ内地ニ何處デモ適スルト云フ譯ニハイカナイ、花ハ咲キマスケレドモ、舊麥ハ出來ルダケ舊麥ノ獎勵ハ致シタイト云フ風ニ致シテ居リマス

○男爵杉溪由言君 私ハ先程三須委員ノ第一ノ質問ニ關聯シテチヨット御伺ヒシタトイ思ヒマス、此ノ戰時下ニ於キマシテ、食糧ノ確保ト云フコトノ最モ大切ナコトハ申ス、物ニ依ッテハ一月以上ノ分量ヲ主要都市ニ貯藏シテアリマスルシ、味噌、醬油ト云相當或程度ノ行詰リヲ感ジテ居リマスノデ、サウ云フ點ヲ速カニ解決シマシテ、出来ルダケ舊麥ノ獎勵ハ致シタイト云フ風ニ

○國務大臣(井野頼哉君) 只今ノ御質問ニ對シテマシテ御答へ申上げマスガ、大體今迄新聞等ニ於テ政府ガ示シテ居リマスノハ主要食糧米麥乾パン、味噌、醬油、罐詰等ニ付テ相當多數ノモノヲ分散貯藏致シテ居リマス、其ノ當座ニ於ケル數日間ノ食糧ニ付テ直グ配給ガ出來マスヤウナ準備ハ致シテ居リマス、從ツテ其ノ點ハ御安心願ツテ然ルベシト思ヒマス

○男爵杉溪由言君 只今ノ大臣ノ御答ハ所謂第三次ノ狀態ガ發生シテモソレデ間ニ合フド云フ意味ト解シマシテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(井野頼哉君) 政府ト致シマシテ準備致シマシタノハ、大東亞戰爭勃發前ノ狀態ニ於テ準備致シタノデアリマス、大東亞戰爭勃發後極メテ戰果赫々タルモノガマシテカラ御稜威ノ下各陸海軍ノ將兵ノ方ノ力戦奮闘ニ依リマシテ、今日迄ハ皇國ノ領土ニ敵ノ飛行機ノ來襲ガナイト云フコトハ、誠ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第アリマス、併シナガラ今後ト雖モ必ズ敵ノ飛行機來テ居リマス、就キマシテハ若シサウ云フ最惡ノ場

合ニ食糧ノ確保、貯藏ト云フモノガ極メテ必要チンデアリマスガ、農林省ハ今日迄ソレヲ或程度迄爲サツテ居ラレルコトハ承知シテ居リマスガ、若シ御差支ナケレバ今日ハドノ程度ニドウ云フ種類ノ食糧ガ確保サレテ居ルト云フコトヲ念ノ爲御伺ヒ出来レバ結構デアリマスガ、御都合ニ依リマシテ速記ヲ御止メニナツテモ、亦祕密會ニシテ戴イテモ結構デアリマス

○國務大臣(井野頼哉君) 只今ノ御質問ニ對シテマシテ御答へ申上げマスガ、大體今迄新聞等ニ於テ政府ガ示シテ居リマスノハ主要食糧米麥乾パン、味噌、醬油ト云相當多數ノモノヲ分散貯藏致シテ居リマス、其ノ當座ニ於ケル數日間ノ食糧ニ付テ直グ配給ガ出來マスヤウナ準備ハ致シテ居リマス、從ツテ其ノ點ハ御安心願ツテ然ルベシト思ヒマス

○男爵杉溪由言君 サウシテ今度ハ中央食糧營團が出來マスト、之ニ依リマシテ多少ソレヨリモ御殖ヤシニナル御見込デアリマセウカ、如何デアリマスカ

○國務大臣(井野頼哉君) 現在ノ狀態デハカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、相當ニ今迄多量ニ貯藏シテアリマスノデ、今日ノ食糧從來ヨリ或ハ或程度減シテモ宜イデヤナインシテ居リマスガ、今日主要食糧ノ米麥ヲ主トシテ栽培スルコトニ於テモ、品質ニ付テハドウシテモ優良ナモノヲ確保シテ栽培シナケレバナラスト云フコトハ勿論デアリマスガ、是等ノ種子ニ付シテノ問題ハ當局トシテ十分ニ御研究ニナツテ居ルコトト思ヒマス、而シテ今日我々ガ左程大キナ注意ヲシナインテモ優良ナモノヲ確保シテ栽培シナケレバ

テ、政府トセラレテハ所謂種苗商ト云フモ  
ノニ對シテ此ノ際如何ナル方法ヲ以テ監督  
セラレルカ、又其ノ優良ナル種子ヲ供給ス  
ルコトヲサセルト云フコトニ對シテノ方法  
ヲ講ジテ居ラレルカドウカト云フ點ヲ伺ヒ  
タインデアリマス

○國務大臣(井野頃哉君) 總テノ農作物ノ  
種子ノ問題ノ大切ナコトハ、今御説ノ通り  
デアリマス、殊ニ主要食糧ノ種子ニ致シマ  
ス、農家自體ガ非常ニ大事ニシテ考ヘテ  
居リマスガ、生鮮蔬菜類ノ種子等ニ付キマ  
シテハ、サウ云フ點ニ付テ色々缺點モアリ  
マスノデ、當局トシテモサウ云フ點ハ十分  
注意ヲシテ今迄モヤツテ居リマスガ、只今御  
話ノヤウナ種苗商ニ對スル取締、是モ確カ  
現在免許制度ニナツテ居ルト存ジテ居リマ  
スガ、其ノ免許ニ當リマシテモ、無論人格  
的、資產的色々ノ狀況ヲ審査シテ免許致シ  
テ居リマス、又ソレニ對シテマダ種苗ノ檢  
査迄ハ行ツテ居ナイト思ヒマスガ、指導ニ依  
リマシテ適當ナル種子ノ配給ニ努メタイト  
カラ、サウ云フ點ニ於テ多少注意が缺ケ  
テ居ツタト思ヒマス、昨年來色々ノ經驗ニ鑑  
ミマシテ、今後ハサウ云フ點ヲ十分注意シ  
テ参リタイト思ヒマス

○子爵土岐章君 只今ノ點ニ對シテ大臣カ  
ラ御答辯ヲ承リマシテ、我々トシテハ非常  
ニ意ヲ強ウスル點デアリマスルガ、此ノ點  
ニ付キマシテハ一層ノ御注意ヲ願ヒタイト  
思ヒマス、ソレカラ尙園藝品種ニ付テノ問  
題デアリマスガ、從來非常ニ發達シタ所ノ  
園藝方面ノ種子デアリマスガ、果實ニ致シ

マシテモ、蔬菜ニ致シマシテモ、是等ノ種  
子ノ保存ト云フコトニ對シテハ、政府トシ  
テ如何ニ考ヘテ居ラレマスカ、或ハ是等ノ  
種子ノ保存ト云フ爲ニ一地方ノ農事試驗場  
等ヲ以テ其ノ種子ノ保存ヲ圖ルト云フ風ノ  
御計畫ガアルカドウカ、此ノ點ヲ承リタイ  
ト思ヒマス

○國務大臣(井野頃哉君) 園藝果實、或ハ  
園藝作物ノ種子ニ付キマシテハ、是ハ寧ロ  
今迄モ民間等ニ於キマシテ相當ニ販賣先ガ  
廣イモノデアリマスルカラ、業者自體ガ此  
ノ種子ヲ非常ニ大事ニ致シテ居リマス、併  
シ政府トシマシテモ、無論優良ナル園藝作  
物ノ種子ハ保存シナケレバナラヌノデアリ  
マス、其ノ點ニ付テハ農事試驗場等ニ十分  
留意サレテ保存サシテ居リマス、現ニ神奈  
川縣ノ農事試驗場ノ如キハ、園藝作物ノ種  
子ニ付キマシテハ十分色々考慮シテ居リマ  
ス、又新潟縣デ「チユーリップ」其ノ他色々  
ノモノニ付キマシテモ、新潟縣ヲシテ十分  
處迄來レバモウ純然タル專賣ニシテシマッ  
スル食糧營團ノ性格ニ付テ少シ伺ヒタイ  
ガアルノデアリマスガ、私共ノ考デハ、此  
テハ善處シテ參リタイト思ヒマス

○次田大三郎君 私本案ニ規定シテアリ  
マス、處ガ此ノ議會ニナリマスルト、色  
色ナ營團ガ澤山出來タ、又營團ト言ハナク  
云フ意味ノ御答辯デ、其ノ儘ニナツタノデア  
リマス、處ガ此ノ議會ニナリマスルト、色  
色ナ營團ガ澤山出來タ、又營團ト言ハナク  
テモ、或ハ南方開發金庫トカ、戰時金融金  
庫トカト云フヤウナ、同種類ノモノガ出テ  
參ツタノデアリマス、此ノ食糧營團ノスル  
コトハ、從來ノ營利的ナ配給機構ニ代ツテ、  
純然タル公益的ノ立場デ主要食糧ノ配給ヲ  
スルト云フコトニナツタノデアリマス、而  
モ此ノ營團ノ役員以下ノ從事員ハ矢張リ私  
ノモノデアルラシイ、私ノ考デハ專  
賣ノ仕事ヲスル官吏ニ代ハルモノデアルカ  
ラ、少クモ是ハ公務員ニスルノガ相當ナ  
ラナイカト思フノデアリマス、現ニ此ノ  
議會ニ提出セラレマシタ日本銀行法ヲ見マ  
シテモ、戰時金融金庫法ヲ見マシテモ、皆

性格ニ付テマダハッキリシナ所ガアルノ  
デ、ソレヲ伺ヒタインデアリマス、數年前  
迄ハ、國策會社ト云フモノガ大流行デアリ  
マシテ、何カト云ヘバ國策會社ヲ作ラレタ  
ノデアリマス、昨年アタリカラソレニ代ヘ  
テ營團ト云フモノガ額ヲ出シテ來タノデア  
リマス、此ノ國策會社ト云フモノハ、是ハ  
純然タル私法人、唯國策遂行ノ任務ヲ帶ビ  
タ私法人デアルト思ヒマス、營團ニナリマ  
スルト、會社デハナイ、併シソレガ公法人デ  
アルカ私法人デアルカハッキリシテ居ナイ  
ノデアリマス、スルコトハ公ノコトヲスル  
ノガ目的ナノデアリマス、實ハ昨年帝都高  
速度交通營團法ガ此ノ議會ニ現ハレマシタ  
時ニ、頻リニ其ノ營團ト云フモノヲ公法的  
ナモノトシテ取扱フベキモノノデナイカト云  
フ議論ヲ致シタノデアリマスルガ、政府ハ  
マダ營團ト云フモノハ今度初メテ拵ヘルノ  
デ、モウ少シ能ク研究シナケレバナラスト云  
云フ意味ノ御答辯デ、其ノ儘ニナツタノデア  
リマス、處ガ此ノ議會ニナリマスルト、色  
色ナ營團ガ澤山出來タ、又營團ト言ハナク  
テモ、或ハ南方開發金庫トカ、戰時金融金  
庫トカト云フヤウナ、同種類ノモノガ出テ  
參ツタノデアリマス、此ノ食糧營團ノスル  
コトハ、從來ノ營利的ナ配給機構ニ代ツテ、  
純然タル公益的ノ立場デ主要食糧ノ配給ヲ  
スルト云フコトニナツタノデアリマス、而  
モ此ノ營團ノ役員以下ノ從事員ハ矢張リ私  
ノモノデアルラシイ、私ノ考デハ專  
賣ノ仕事ヲスル官吏ニ代ハルモノデアルカ  
ラ、少クモ是ハ公務員ニスルノガ相當ナ  
ラナイカト思フノデアリマス、現ニ此ノ  
議會ニ提出セラレマシタ日本銀行法ヲ見マ  
シテモ、戰時金融金庫法ヲ見マシテモ、皆

其ノ從業員ハ公務員ニナツテ居ルノデアリ  
マス、公務員ニナリマスレバ、特殊ノ權力  
關係ノ下ニ立ツテ、特別ノ嚴シイ服務規律  
ニ服シテ、一通り間違ヒガナイ形ニ於テ從  
業員ガ勤クコトニナルノデアリマス、此ノ  
ヤウダト、從業員ト營團トノ關係ハ、純然  
タル私法上ノ雇傭關係デアリマシテ、其ノ  
點、公ノ仕事ヲ遂行スルノニ果シテ十分デ  
アルカドウカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナ  
イノデアリマス、ソコデ先づ伺ヒタインハ  
此ノ食糧營團ノ役員以下ノ從業員ヲ、他ノ  
アルカ私法人デアルカハッキリシテ居ナイ  
ノデアリマス、スルコトハ公ノコトヲスル  
ノガ目的ナノデアリマス、實ハ昨年帝都高  
速度交通營團法ガ此ノ議會ニ現ハレマシタ  
時ニ、頻リニ其ノ營團ト云フモノヲ公法的  
ナモノトシテ取扱フベキモノノデナイカト云  
フ議論ヲ致シタノデアリマスルガ、政府ハ  
マダ營團ト云フモノハ今度初メテ拵ヘルノ  
デ、モウ少シ能ク研究シナケレバナラスト云  
云フ意味ノ御答辯デ、其ノ儘ニナツタノデア  
リマス、處ガ此ノ議會ニナリマスルト、色  
色ナ營團ガ澤山出來タ、又營團ト言ハナク  
テモ、或ハ南方開發金庫トカ、戰時金融金  
庫トカト云フヤウナ、同種類ノモノガ出テ  
參ツタノデアリマス、此ノ食糧營團ノスル  
コトハ、從來ノ營利的ナ配給機構ニ代ツテ、  
純然タル公益的ノ立場デ主要食糧ノ配給ヲ  
スルト云フコトニナツタノデアリマス、而  
モ此ノ營團ノ役員以下ノ從事員ハ矢張リ私  
ノモノデアルラシイ、私ノ考デハ專  
賣ノ仕事ヲスル官吏ニ代ハルモノデアルカ  
ラ、少クモ是ハ公務員ニスルノガ相當ナ  
ラナイカト思フノデアリマス、現ニ此ノ  
議會ニ提出セラレマシタ日本銀行法ヲ見マ  
シテモ、戰時金融金庫法ヲ見マシテモ、皆

モ、ソレノミニ依ッテハ支配サレナイト云フ  
點ヲ考慮致シタノデアリマス、然ラバ其ノ  
従業員ヲ何故公務員ニシナカッタカト云フ  
御尋デアリマスガ、是モ營團從來ノ性質カ  
ラ見マシテ、營團ト云フモノハ矢張リ大體  
ノ解釋ハ私法人デアル、公法人トハ書イテ  
シテ居ラナイ慣例ニナッテ居リマス、今回提  
出サレマシタ日本銀行デアリマストカ、或  
ハ南方金庫ヲ公務員ニシタト云フコトハ、  
是ハ金庫ナリ、銀行ノ性質カラサウナッタコ  
トト我々モ考ヘテ居リマスルガ、從來ノ所  
謂米ノ配給業者ヲ直グ公務員迄持ッテ來ル  
ノハ少シ行過ギハシナイカ、現在此ノ配給  
ノ上ニ於テ色々ノ不平モアリ、又缺點モア  
リマスノハ、何モソレガ公務員デアルカラ  
ドウスウト云フ問題デナクシテ、公務員デ  
モ相當ニ不親切ナ、又十分國家的ノ意思ヲ  
理解シナイ者モキニシモアラズデアリマ  
スガ、寧ロ現在ノ商人ヲシテ、一つノ公共  
的ノ團體ノ構成員デアルト云フ觀念ダケデ  
十分デハナカラウカ、必ズシモソレヲ公務  
員ト云フコトニシテ、色々ノ官公吏ト同ジ  
リマス、併シナガラ營團ノ從業員ガ色々不  
都合ノコトヲシタ云フ場合ニ、其ノ不都  
合ノコトヲ止メサス方法ハ陳情以外ニナイ  
ノデアリマス、若シソレガ公務員ト云フコ  
トニシテ、必ズシモ直グソレニ  
ヤウナコトニ迄マダ持ッテ參リマスノニハ、  
現在ノ米屋ニ對シテノ訓練ナリ、其ノ他ノ  
教養等ニ付キマシテ、必ズシモ直グソレニ  
當缺ルカドウカト云フ點ニ付テ色々ノ疑  
點モアリマスノデ、先づ此ノ程度デ、從來  
ノ營團ガ總テスウナッテ居リマスカラ、此ノ  
程度デ、一つ運營シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ  
居ル次第デアリマス

○次田大三郎君 其ノ米屋ヲ公務員ニスル  
トカ、直グニ公務員ニスルト云フノハ非常  
ニ飛躍ノヤウデアリマスガ、併シ公務員ト  
云フモノハ非常ニエライ公務員モアリマス  
ガ、又餘リエラクナイ公務員モ現ニアルノ  
デアリマシテ、鐵道ノ改札口デ切符ヲ切ッテ  
居ル人モ公務員デアルノデアリマス、米屋  
ヲ直グ官吏ニスル、公務員ニスルト云フコ  
トヲエラク躊躇ナサルヤウデアリマスケ  
レドモ、一向差支ヘナイモノデハナイカ、  
サウシテ公務員トシテノ責任ヲ持タセルト  
云フコトニ依ッテ、我々消費者ハ安心シテ  
配給ノ仕事ヲシテ貰フト云フコトニナルノ  
デナイカト思フノデアリマス、若シ配給ノ  
仕事ヲシテ居ル人達ガスベキコトヲシナ  
カッタ、若シクハシテナラヌコトヲシタト  
云フコトニナリマスレバ、食糧問題ハ國民  
ノ生活ニ密接ノ關係ガアルダケニ、一般消  
費者ノ不安ハ非常ニ大キイコトニナルノ  
デアリマス、此ノ法案ヲ通讀致シマシテ  
モ、サウ云フ場合ニ於ケル救濟ノ方法ハ  
別ニ講ゼラレテナイノデアリマス、成ル程  
損害ヲ蒙リマシタ場合ニハ、民法ノ規定ヲ  
適用シテ損害賠償ノ請求ハ出來ルヤウデア  
リマス、併シナガラ營團ノ從業員ガ色々不  
都合ノコトヲシタ云フ場合ニ、其ノ不都  
合ノコトヲ止メサス方法ハ陳情以外ニナイ  
ノデアリマス、若シソレガ公務員ト云フコ  
トニシテ、必ズシモ直グソレニ  
ヤウナコトニ迄マダ持ッテ參リマスノニハ、  
現在ノ米屋ニ對シテノ訓練ナリ、其ノ他ノ  
教養等ニ付キマシテ、必ズシモ直グソレニ  
當缺ルカドウカト云フ點ニ付テ色々ノ疑  
點モアリマスノデ、先づ此ノ程度デ、從來  
ノ營團ガ總テスウナッテ居リマスカラ、此ノ  
程度デ、一つ運營シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ  
居ル次第デアリマス

云フモノハ非常ニエライ公務員モアリマス  
ガ、又餘リエラクナイ公務員モ現ニアルノ  
デアリマシテ、鐵道ノ改札口デ切符ヲ切ッテ  
居ル人モ公務員デアルノデアリマス、米屋  
ヲ直グ官吏ニスル、公務員ニスルト云フコ  
トヲエラク躊躇ナサルヤウデアリマスケ  
レドモ、一向差支ヘナイモノデハナイカ、  
サウシテ公務員トシテノ責任ヲ持タセルト  
云フコトニ依ッテ、我々消費者ハ安心シテ  
配給ノ仕事ヲシテ貰フト云フコトニナルノ  
デナイカト思フノデアリマス、若シ配給ノ  
仕事ヲシテ居ル人達ガスベキコトヲシナ  
カッタ、若シクハシテナラヌコトヲシタト  
云フコトニナリマスレバ、食糧問題ハ國民  
ノ生活ニ密接ノ關係ガアルダケニ、一般消  
費者ノ不安ハ非常ニ大キイコトニナルノ  
デアリマス、此ノ法案ヲ通讀致シマシテ  
モ、サウ云フ場合ニ於ケル救濟ノ方法ハ  
別ニ講ゼラレテナイノデアリマス、成ル程  
損害ヲ蒙リマシタ場合ニハ、民法ノ規定ヲ  
適用シテ損害賠償ノ請求ハ出來ルヤウデア  
リマス、併シナガラ營團ノ從業員ガ色々不  
都合ノコトヲシタ云フ場合ニ、其ノ不都  
合ノコトヲ止メサス方法ハ陳情以外ニナイ  
ノデアリマス、若シソレガ公務員ト云フコ  
トニシテ、必ズシモ直グソレニ  
ヤウナコトニ迄マダ持ッテ參リマスノニハ、  
現在ノ米屋ニ對シテノ訓練ナリ、其ノ他ノ  
教養等ニ付キマシテ、必ズシモ直グソレニ  
當缺ルカドウカト云フ點ニ付テ色々ノ疑  
點モアリマスノデ、先づ此ノ程度デ、從來  
ノ營團ガ總テスウナッテ居リマスカラ、此ノ  
程度デ、一つ運營シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ  
居ル次第デアリマス

○次田大三郎君 其ノ米屋ヲ公務員ニスル  
トカ、直グニ公務員ニスルト云フノハ非常  
ニ飛躍ノヤウデアリマスガ、併シ公務員ト  
云フモノハ非常ニエライ公務員モアリマス  
ガ、又餘リエラクナイ公務員モ現ニアルノ  
デアリマシテ、鐵道ノ改札口デ切符ヲ切ッテ  
居ル人モ公務員デアルノデアリマス、米屋  
ヲ直グ官吏ニスル、公務員ニスルト云フコ  
トヲエラク躊躇ナサルヤウデアリマスケ  
レドモ、一向差支ヘナイモノデハナイカ、  
サウシテ公務員トシテノ責任ヲ持タセルト  
云フコトニ依ッテ、我々消費者ハ安心シテ  
配給ノ仕事ヲシテ貰フト云フコトニナルノ  
デナイカト思フノデアリマス、若シ配給ノ  
仕事ヲシテ居ル人達ガスベキコトヲシナ  
カッタ、若シクハシテナラヌコトヲシタト  
云フコトニナリマスレバ、食糧問題ハ國民  
ノ生活ニ密接ノ關係ガアルダケニ、一般消  
費者ノ不安ハ非常ニ大キイコトニナルノ  
デアリマス、此ノ法案ヲ通讀致シマシテ  
モ、サウ云フ場合ニ於ケル救濟ノ方法ハ  
別ニ講ゼラレテナイノデアリマス、成ル程  
損害ヲ蒙リマシタ場合ニハ、民法ノ規定ヲ  
適用シテ損害賠償ノ請求ハ出來ルヤウデア  
リマス、併シナガラ營團ノ從業員ガ色々不  
都合ノコトヲシタ云フ場合ニ、其ノ不都  
合ノコトヲ止メサス方法ハ陳情以外ニナイ  
ノデアリマス、若シソレガ公務員ト云フコ  
トニシテ、必ズシモ直グソレニ  
ヤウナコトニ迄マダ持ッテ參リマスノニハ、  
現在ノ米屋ニ對シテノ訓練ナリ、其ノ他ノ  
教養等ニ付キマシテ、必ズシモ直グソレニ  
當缺ルカドウカト云フ點ニ付テ色々ノ疑  
點モアリマスノデ、先づ此ノ程度デ、從來  
ノ營團ガ總テスウナッテ居リマスカラ、此ノ  
程度デ、一つ運營シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ  
居ル次第デアリマス

云フモノハ非常ニエライ公務員モアリマス  
ガ、又餘リエラクナイ公務員モ現ニアルノ  
デアリマシテ、鐵道ノ改札口デ切符ヲ切ッテ  
居ル人モ公務員デアルノデアリマス、米屋  
ヲ直グ官吏ニスル、公務員ニスルト云フコ  
トヲエラク躊躇ナサルヤウデアリマスケ  
レドモ、一向差支ヘナイモノデハナイカ、  
サウシテ公務員トシテノ責任ヲ持タセルト  
云フコトニ依ッテ、我々消費者ハ安心シテ  
配給ノ仕事ヲシテ貰フト云フコトニナルノ  
デナイカト思フノデアリマス、若シ配給ノ  
仕事ヲシテ居ル人達ガスベキコトヲシナ  
カッタ、若シクハシテナラヌコトヲシタト  
云フコトニナリマスレバ、食糧問題ハ國民  
ノ生活ニ密接ノ關係ガアルダケニ、一般消  
費者ノ不安ハ非常ニ大キイコトニナルノ  
デアリマス、此ノ法案ヲ通讀致シマシテ  
モ、サウ云フ場合ニ於ケル救濟ノ方法ハ  
別ニ講ゼラレテナイノデアリマス、成ル程  
損害ヲ蒙リマシタ場合ニハ、民法ノ規定ヲ  
適用シテ損害賠償ノ請求ハ出來ルヤウデア  
リマス、併シナガラ營團ノ從業員ガ色々不  
都合ノコトヲシタ云フ場合ニ、其ノ不都  
合ノコトヲ止メサス方法ハ陳情以外ニナイ  
ノデアリマス、若シソレガ公務員ト云フコ  
トニシテ、必ズシモ直グソレニ  
ヤウナコトニ迄マダ持ッテ參リマスノニハ、  
現在ノ米屋ニ對シテノ訓練ナリ、其ノ他ノ  
教養等ニ付キマシテ、必ズシモ直グソレニ  
當缺ルカドウカト云フ點ニ付テ色々ノ疑  
點モアリマスノデ、先づ此ノ程度デ、從來  
ノ營團ガ總テスウナッテ居リマスカラ、此ノ  
程度デ、一つ運營シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ  
居ル次第デアリマス

○次田大三郎君 其ノ米屋ヲ公務員ニスル  
トカ、直グニ公務員ニスルト云フノハ非常  
ニ飛躍ノヤウデアリマスガ、併シ公務員ト  
云フモノハ非常ニエライ公務員モアリマス  
ガ、又餘リエラクナイ公務員モ現ニアルノ  
デアリマシテ、鐵道ノ改札口デ切符ヲ切ッテ  
居ル人モ公務員デアルノデアリマス、米屋  
ヲ直グ官吏ニスル、公務員ニスルト云フコ  
トヲエラク躊躇ナサルヤウデアリマスケ  
レドモ、一向差支ヘナイモノデハナイカ、  
サウシテ公務員トシテノ責任ヲ持タセルト  
云フコトニ依ッテ、我々消費者ハ安心シテ  
配給ノ仕事ヲシテ貰フト云フコトニナルノ  
デナイカト思フノデアリマス、若シ配給ノ  
仕事ヲシテ居ル人達ガスベキコトヲシナ  
カッタ、若シクハシテナラヌコトヲシタト  
云フコトニナリマスレバ、食糧問題ハ國民  
ノ生活ニ密接ノ關係ガアルダケニ、一般消  
費者ノ不安ハ非常ニ大キイコトニナルノ  
デアリマス、此ノ法案ヲ通讀致シマシテ  
モ、サウ云フ場合ニ於ケル救濟ノ方法ハ  
別ニ講ゼラレテナイノデアリマス、成ル程  
損害ヲ蒙リマシタ場合ニハ、民法ノ規定ヲ  
適用シテ損害賠償ノ請求ハ出來ルヤウデア  
リマス、併シナガラ營團ノ從業員ガ色々不  
都合ノコトヲシタ云フ場合ニ、其ノ不都  
合ノコトヲ止メサス方法ハ陳情以外ニナイ  
ノデアリマス、若シソレガ公務員ト云フコ  
トニシテ、必ズシモ直グソレニ  
ヤウナコトニ迄マダ持ッテ參リマスノニハ、  
現在ノ米屋ニ對シテノ訓練ナリ、其ノ他ノ  
教養等ニ付キマシテ、必ズシモ直グソレニ  
當缺ルカドウカト云フ點ニ付テ色々ノ疑  
點モアリマスノデ、先づ此ノ程度デ、從來  
ノ營團ガ總テスウナッテ居リマスカラ、此ノ  
程度デ、一つ運營シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ  
居ル次第デアリマス

云フモノハ非常ニエライ公務員モアリマス  
ガ、又餘リエラクナイ公務員モ現ニアルノ  
デアリマシテ、鐵道ノ改札口デ切符ヲ切ッテ  
居ル人モ公務員デアルノデアリマス、米屋  
ヲ直グ官吏ニスル、公務員ニスルト云フコ  
トヲエラク躊躇ナサルヤウデアリマスケ  
レドモ、一向差支ヘナイモノデハナイカ、  
サウシテ公務員トシテノ責任ヲ持タセルト  
云フコトニ依ッテ、我々消費者ハ安心シテ  
配給ノ仕事ヲシテ貰フト云フコトニナルノ  
デナイカト思フノデアリマス、若シ配給ノ  
仕事ヲシテ居ル人達ガスベキコトヲシナ  
カッタ、若シクハシテナラヌコトヲシタト  
云フコトニナリマスレバ、食糧問題ハ國民  
ノ生活ニ密接ノ關係ガアルダケニ、一般消  
費者ノ不安ハ非常ニ大キイコトニナルノ  
デアリマス、此ノ法案ヲ通讀致シマシテ  
モ、サウ云フ場合ニ於ケル救濟ノ方法ハ  
別ニ講ゼラレテナイノデアリマス、成ル程  
損害ヲ蒙リマシタ場合ニハ、民法ノ規定ヲ  
適用シテ損害賠償ノ請求ハ出來ルヤウデア  
リマス、併シナガラ營團ノ從業員ガ色々不  
都合ノコトヲシタ云フ場合ニ、其ノ不都  
合ノコトヲ止メサス方法ハ陳情以外ニナイ  
ノデアリマス、若シソレガ公務員ト云フコ  
トニシテ、必ズシモ直グソレニ  
ヤウナコトニ迄マダ持ッテ參リマスノニハ、  
現在ノ米屋ニ對シテノ訓練ナリ、其ノ他ノ  
教養等ニ付キマシテ、必ズシモ直グソレニ  
當缺ルカドウカト云フ點ニ付テ色々ノ疑  
點モアリマスノデ、先づ此ノ程度デ、從來  
ノ營團ガ總テスウナッテ居リマスカラ、此ノ  
程度デ、一つ運營シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ  
居ル次第デアリマス

ニ非常ニ大キナ關係ノアル、公ノ仕事ヲ擔任シテ居ル者デアルカラ、公務員タルト公務員タラザルトヲ問ハズ、役人同様ノ瀆職罪ニ對シテハ、役人同様ノ制裁ヲ加ヘテ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、之ヲ輕クシテアルノハドウ云フ譯デスカ

○國務大臣(井野碩哉君) 本來株式會社デアリマストカ、サウ云フ營利法人ニ對シマシテノ瀆職罪ト云フモノハ規定ガナイ譯デアリマス、營團ノ性質上、サウ云タモノニ矢張り瀆職行爲ガアツテハナラスト云フ見地カラ規定ヲ入レタノデアリマスガ、官吏ノ瀆職罪ヨリハ是ハ其ノ營團ノ性質上、輕クシテモ宜イノデヤナカラウカ、詰リ官吏ハ非常ニ大キナ職權ヲ持チ、ソレニ基イテノ瀆職デアリマスレバ、是ハ當然制裁サルベキモノデアリマスケレドモ、從來ノ株式會社ト國家機關トノ間ノ機關デアリマス、從ツテ官吏ヨリハ或程度輕クトモ、是ハ然ルベキヂヤナイカト云フ見地カラ、此ノ規定ガ出來テ居ルト考へテ居リマス

○次田大三郎君 ソレモ意見ノ相違ノヤウデアリマスカラ、是レ以上ハ申上ゲマセヌガ、私ハ從來株式會社、若シクハ商業組合等デヤッテ居ツタノヲ之ニ移スノデアツテ、矢張リ前ノ關係ニ捉ハレテ今ノヤウナ御議論が出ルノグラウト思ヒマスガ、私ノ考テハ官吏ガヤッテ居ル仕事ト同ジ程度ニ重要ナ、國民ノ生活ニ重要ナ關係ノアルモノデアリマスルカラ、ドウモ特ニ此ノ食糧營團ノ役員、使用人ノ瀆職罪ノ罪ヲ輕クスル理由ハドウシテモ考ヘラレナイ、殊ニ若シ此ノ食糧營團ノ總裁、副總裁ト云フヤウナ高イ地位ニアル人ガ瀆職罪ヲ犯シテ、國民ガ現在非常ナ不便ヲ忍ンデ統制ニ服シテ居ル、其ノ

統制經濟ノ一環トシテ仕事ヲシテ居ル者ガ、瀆職罪ヲ犯スト云フヤウナコトガアレバ、是ハ非常ニ重イ刑ヲ課シテモ然ルベキデハナイカト思フノデアリマス、官吏トシテモ非常ニ重要ナル職權ヲ以テヤッテ居ル官吏モアリマスレバ、左程デナイ官吏モアル、極ク輕イ地位ニ居ル官吏デモ、矢張リ瀆職罪ヲ犯シマスレバ、重イ刑ニ處セラレルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、食糧營團ノ役員ハ總テ官吏ヨリカ輕イモノダト云フ風ニ考ヘルコトハ、私ハ間違テ居ルト思フノデアリマス、併シ其ノ程度ニ止メテ置キマセウ、モウ一ツ此ノ法文デ見マスルト、食糧營團ノ出資ニ對スル配當ノ制限ガアルヤウデアリマス、サウスルト結局配當ヲシテ金ガ餘タト云フ場合ノコトヲ考へル、ソレ以上ハ配當ガ出來ナイ、金ガダブルツクト云フコトニナリマスルト、自然其ノ金ガ從業員ノ報酬トカ、賞與トカ、或ハ交際費トカ、機密費トカ云フウナモノニ使ハレル弊ガ起リ易イド思フノデアリマス、サウ云フ問題ニ付テハ、營團ノ監督官ガ居レテ、始終目ラ陸ツテ居ラレルコトトハ思ヒマスルガ、併シ生産者ノ側カラ見マスレバ、サウ云フコトニ無駄ナ金ヲ使ッテ貰フ程ナラバ、我々ノ米ヲ高ク買ツテ貰ヒタイト云フ考モ出マセウシ、消費者ノ側カラ見マスレバ、サウ云フコトニ無駄ナ金ヲ使フナラ、又生産者ノ代表モ加ヘテ戴キタイト云フコトデアリマスガ、是ハ今御話ノヤウニ色々御ノ中ニハ消費者ノ代表ヲ入レテ戴キタイ、又生産者ノ代表モ加ヘテ戴キタイト云フコトデアリマスガ、是ハ今御話ノヤウニ色々御監督ノ方法ハ講ゼラレルコトト思ヒマスガ、モ存ジマセヌガ、私達ノ從來ヤッテ居リマシテ、中央集權ト云フコトノ趣旨ヲ能ク承ラナイト、或ハ御返事ガ違フカリマス御方針デアリマスカ、其ノ大綱ヲ承リダイト思ヒマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 私ノ質問ハ是デ終リマス、非常ニ樂ニナツテ參リマスレバ、販賣價格ヲ下地コトニ向ッテ、盡シテ行キマスコトハ當然デアリマスケレドモ、今御述ベノヤウナ役員ヤ或ハ從業員ニ對スル待遇問題、是モ從業員ニ付キシテハ、社會一般ノ情勢ニ即應シマシテ、色々福利施設等モ講ジテ參ルコトハ、是ハ當然タト思ヒマス、併シ役員、或ハ從業員等ノ俸給ニ付キマシテハ、是ハ豫メ會社經理令ニ順應シマシテ、中央政府カラ基準ヲ示シテ居リマス、又職員ノ俸給等ニ付キシテハ、俸給ノ規定ヲ設ケサセマシテ、豫メ監督ヲ致シテ居リマス、從ツテ非常ニ利益ガアツテ爲ニ、急ニ賞與ヲ出ストカ、又或ハ其ノ他ノ機費ヲ出ストカ云フコトノ出來ナイヤウナ制度ニハ、監督規定ノ上カラ、十分致ス積リデゴザイマス、デアリマスカラ、其ノ點ノ御懸念ハナイコトト御了承願ヒタイト思ヒマス

○次田大三郎君 私一ツ希望ヲ申上ゲタイ、ソレハ此ノ評議員ト云フ役員ガ出來ルノデアリマスガ、地方ノ食糧營團ノ評議員ノ中ニハ消費者ノ代表ヲ入レテ戴キタイ、又生産者ノ代表モ加ヘテ戴キタイト云フコトデアリマスガ、是ハ今御話ノヤウニ色々御監督ノ方法ハ講ゼラレルコトト思ヒマスガ、モ存ジマセヌガ、私達ノ從來ヤッテ居リマシテ、中央集權ト云フコトノ趣旨ヲ能ク承ラナイト、或ハ御返事ガ違フカリマス御方針デアリマスカ、其ノ大綱ヲ承リダイト思ヒマス

○政府委員(湯川元威君) 只今坊城委員ノ仰セノアリマシタ中央集權ト云フコトノ趣旨ヲ能ク承ラナイト、或ハ御返事ガ違フカモ存ジマセヌガ、私達ノ從來ヤッテ居リマシテ、一層管理ト云フ行キ方ヲ法律ヲ以チダト御承知戴イテ居リマスレバ、今後ト雖ゲテ貰フ、或ハ消費者ニ賣ル米ノ値段ヲ下云フモノ附ケ加ヘルコトニ御願ヒシタイ

○國務大臣(井野碩哉君) 大體此ノ營團ガテ云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

程ハ能ク分ツタノデアリマスガ、此ノ法案全體ヲ見テ見マスト、政府ガ力ノ及ブノハ、營團ニ對シテハ第十四條ノ監督ヲスルト云フコトガアリマス、ソレカラ二十五條ニ「地方食糧營團」ノ名稱、資本金及主タル事務所ノ所在地ハ政府之ヲ定ム「ソレカラ二十八條ノ所ニ、是ハ地方營團ノ事業デアリマスガ、斯ウ云ツタヤウナコトデ、政府ノ力ノ及ブ所ハ比較的少ク現レテ居ルノデアリテ、此ノ法律デモ此ノ十三條迄ハ殆ド前ノマス、從來ノ法律ヲ通覽致シマスト、大體勅令事項ニ委任シタルモノガ、非常ニ多ク四條以下ハ食糧營團ニ限ツテ、非常ニ法的ニハ將來心配ナイト云フコトヲ御強調ニツタ常ニ勅令事項ガ多イノデアリマスガ、第十一シタカ、農林大臣ガ「ブロック」制ニ對シテハ將來心配ナイト云フコトヲ御強調ニツタ四條アリマスガ、ドウモ此ノ法律ヲ見マスト益々地方分權的ニ強クサセルンデヤナイ之力、地方長官ノ方ヲ強クサセルンデヤナイカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、其ノ點ヲ伺ツタ譯ニアリマス

ニシテ配給サレルカト云フ計畫ハ、是ハ矢張リ政府方定メタ數量ヲ決メテ與ヘルコトニナリマスシ、米ハソレドヽ地方營團ニ拂下ゲルノデアリマスルガ、此ノ地方營團ニ對シマスル拂下ゲノ分量ハ、從來政府デヤツテ居リマスル配給割當量ノ計畫ニ從ヒマシテ、之ヲ拂下ゲテ居ルト云フヤウナコトニナルノデアリマスガ、地方ハ、此ノ米麥ニ付キマシテハ一應全部政府ニ收納致シマシテ、一應斯ウ云フ風ニ配給致スヤウニナリマスカラ、坊城委員ノ仰セニナリマシタヤウナ御心配ハナイト私共ハ確ク信ジテ居ルノデスガ、更ニ中央營團ニ對シマスル關係ニ於キマシテハ、此ノ第二十條ノ規定ヲ御覽戴キマスルト、配給上必要ナル命令が出来ルヤウニナッテ居リマスシ、當中央營團ガ其ノ地方營團ニ賣リマシタ主要食糧ニ付キマシテハ、地方營團ガドウソレヲ賣捌クカト云フコトニ付キマシテハ、第二十五條ノ規定ヲ御覽戴キマスルト、中央營團カラ指示ヲサセルト云フコトニナッテ居リマス、其ノ際ハ政府ノ認可ヲ受ケシメルト云フコトニナッテ居リマスン、其ノ行キ方ハ地方營團ニモ準用サレテ居ルノデアリマス、是等ノ點ハ條文ノ上カラダケ御覽戴キマシテモ、處々デ急所ハ抑ヘテ居ルヤウナ形ニナッテ居リマスノデ、斯ウ云フ法規ノ上デナク、全體ノ計畫ハ先程モ申上げマシタヤウニ、從來ヤツテ居リマスル食糧配給計畫ヲ今後ハ一層緻密ニヤツテ參リタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、各地方廳ガソレゾレ割當テラレマシタ分量ノ食糧ヲ以チマシテ計畫ヲ樹テテ居リマスレバ、其ノ分量ヲ逃サナイヤウニト云フ意味カラ申シマシテ、各府縣ガソレヽ搬出ノ取締ラスルコトハ、

是ハ管理制度ニ於キマシテハ當然ナノデア  
リマス、ソレデ管理シテ居リマス、計畫化  
シテ居リマス食糧ノ配給ハ、府縣ノ境ヲ濫  
リニ往來スルト云フヤウナコトガアツテハ  
寧ロイケナイト思ッテ居リマス、併シソレ  
中央デ計畫ヲシテ、其ノ計畫ニ基イテノコ  
トデアリマスカラ、地方ノ所謂「プロツク」  
ト云フヤウナモノデナイト思ヒマス、地方  
分權的ナ色彩ハ極力抹殺シテ參リタイト、  
斯ウ考ヘテ居リマス。

ト云フモノノ方デ、政府ノ買入價格ト云フ  
モノノ規定ガ第三條ニアリ、家計費ニ準據  
シマス所ノ最高價格ニ當ルモノガ第四條ノ  
賣渡價格ト云フコトニ分ケテ書イタカノ如  
クニ響ク虞ガアルト私ハ思フ、元來從來ト  
雖モ最低價格、最高價格ト言ッテ居リマス  
ケレドモ、最低價格ハ是ハ買入價格ナンデ  
アリマス、最低價格ノ申込ニ依ッテ政府ガ  
買入レルト云フ價格ニナッテ居リマシテ、最  
高價格ハ賣渡價格チナムカラ、結  
局同ジコトニナル、元ノ買入價格ハ生產費  
ト物價、其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ決メ  
テ居ル、賣渡値段ハ家計費ト物價及經濟事  
情ヲ參酌シテ定メルト云フコトデアリマス  
ガ、ドウモ其ノ間ニ今度政府ガ食糧管理法  
ト云フモノヲ立テ、國策ヲ從來ノ自由經  
濟時代ニ於ケル統制トハ異ツタル態度デ進  
ムノデアルト云フコトガ、ハッキリマダ響イ  
テ來ナイト云フコトヲ私ハ感ヅル、ソレデ  
私ノ重點ヲ置イテ居リマスノハ、此ノ生產  
費ト云フモノニ、從來ヨリモ一層調査ニ、  
政府トシテハ力ヲ入レテ戴キタイト云フコ  
トガ要望ノ第一デアリマス、之ニ對シテ政  
府ハドノ位ノ經費ヲ昭和十七年度ニ於テ計  
上シテ居ラレルカドウカト云フヤウナコト  
モ御聽キシタインデアリマスガ、今度ノハ  
米麥ノ生產費ヲ決メルコトニナッテ居ル、「前  
項ノ場合ニ於ケル」ト申シマスノハ米穀、大  
麥、裸麥又ハ小麥、以下米麥ト稱スト、斯ウ  
云フノデアリマス、其ノ賣渡、買入ニ付テ  
ノ生產費ナリ、家計費ヲ調ベルコトニナル

ノデアリマスガ、從來ノ米穀等ノ生産費ノ調査、麥ノ生産費ノ調査モ、政府ハ米ニ準ジテヤツテ居ラレタノデアリマスガ、今度ハ米穀、大麥、稞麥、小麥、ソレドニ付テ生産費ヲ研究シナケレバ此ノ法律ノ適用ガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、生産費ノ調査ニ付テハ相當ニ力ヲ入レテ戴キタイト云フコトヲ私ハ希望スル次第デアリマス、元來生産費ノ計算ト云フノハ非常ニムツカシイ、學者ノ間ニハサウ云フモノハナカヽ容易ニ得ラレルモノデナイト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマスルシ、サウ云フモノヲ調べテ實際ノ價值ガドノ位アルカト云フヤウナコトヲ論ジタ人モ前ニハアツタノデアリマス、併シ何トシマシテモ調査ハ致サヌケレバハツキリシタ政策ノ基礎が出來マセスカラ、是ハドウシテモ調査ヲセザルヲ得ナイ、政府ハ勿論是ハ引續キ調査ヲスルコトニハ異ル所ハナインデアリマシテ、此ノ案ノ第十三條ニモ「主要食糧ノ生産費、生産高、現在高及移動ノ調查、家計費ノ調査其ノ他主要食糧ノ管理ヲ行フ爲必要ナル調査ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノデアッテ、矢張リ引續キ生産費ニ付テハ尙一層ノ力ヲ入レラレルト云フコトハ、此ノ規定ニ依ツテモ推察シ得ルコトト考ヘマス、ソコデ生産費ガ出来タ後ニ於ケル適用ガ、從來ノ統制法ノ時代ト、今度ノ管理法ノ時代ト異ツテ來ナケレバナラスト私ハ思フ、デ從來ノ生産費ニ基キマス所ノ買入價格ノ決定ト云フモノハ、是ハ最低價格ヲ決定スルノデアリマスカラ、農家ハソレデ最低ノ保證ヲ得テ居ルニ過ギナイ、其ノ米ノ値段ハ段々上ツテ來テ、最高米價ヲ超エルヤウナ所ニナル所迄

ノ、後デ米ノ値段が高クナツテ、入レ合セガ付クト云フ意味ニ於テノ最低價格デアルト云フコトハ、是ハ明瞭ナンデアリマスカラ、其ノ生産費ヲ基準ニシタ所ノ買入價格ト云フセノデナイ、處ガ今度ノ食糧管理制度ハサウ云フヤリ方デハイケナイ、今度大體ニ於テ生産費ニ基クモノト、家計費ニ基クモノトノ値段ハ決メラレマス、ケレドモ、要點ハ食糧ノ増産確保ト云フコトニアルノデアリマスカラ、從來ノ如キ中庸生産費デ以テ最低價格、即チ買入價格ヲ決メルト云フノデハ、中庸生産費ヨリモ高い生産費ヲ費シテ居ル所ノ農家ハ、償フ所ハナイト云フ結果ニナルコトハ、是ハ當然デアリマス、日本ノ米作ガ一人ノ農業者ガヤッテ居ルト云フ想像ノ下ニ推定スルナラバ、中庸生産費、即チ大體ニ於テ平均生産費デ政府ガ買ヘバ、或場所デハソレヨリモ安ク出来テ居ル、或場所ニ於テハソレヨリ高ク出来テ居ル、平均シテソレデ買フノデアリマスカラ、收支ハソレデ償ツテ居ルト云フコトニナル譯デス、併シナガラ日本ノ米作ハ一人ガ作ツテ居ルノデハナイ、零細ナル農家ガ澤山アル、寧ロ生産費ノ高イ方面ノ農家ガ相當アル、ソレヲ償ハナケレバ全體ノ生産額ノ確保ハ出來ナイコトハ是ハ當然ナシデス、平均生産費デ行ツタ場合ニ於テハ、ソレヨリ高イ生産費ノ米作者ハ損出来ナイコトデアル、ソレデスカラ極端ナソ生産ヲ獎勵スル場合ニ損ヲシテ作ラセルト云フコトハ政府トシテハ要望スルコトハコトヲ申シマスト、從來アリマス所ノ米穀ノ生産總數量ヲ確保スルガ爲ニハ、最高生

産費ニ政府が買ハナケレバ全部ノ米ハ得ラ  
レナイト云フコトニナル譯ナンデス、何故  
カト云フト、平均値段ヨリモ高イ生産費ノ  
モノハ作レナクナルノデアリマス、平均ヨ  
リモ高ク出シテ居ルモノハ米作ヲ止メルト  
云フコトニナル結果ガ當然起ツテ來ル、ソレ  
ハ政府トシテハ出來ナイコトデアル、ドウ  
シテモサウ云フ譯デアリマスカラ、從來ノ  
如キ中庸生産費デ以テ直グニ之ヲ參酌シテ  
買入價格ヲ決メルト云フヤリ方デハ、生産  
ノ確保ガ出來ナイコトハ今申シタコトデ明  
瞭デアル、サウ云フコトニナリマスカラ今  
後ニ於テハ生産費ヲ參酌シタル買入價格ノ  
決定ト云フコトガ非常ニムツカシクナルト  
云フコトハ、農林大臣モ勿論前カラ御了解  
ノコトト私ハ考ヘマス、ソレデ茲ニ非常ニ  
ムツカシイ問題ガ起ツテ來ル、中庸生産費ニ  
重點ヲ置カズシテ、最高生産費ト云フコト  
ニシマシタナラバ、從來安ク米ヲ作ツテ居  
ル者ハ大變ナ利益ヲ得ルコトニナリマスカラ  
ラ、私ハ自分ノ考トンシテハ矢張リ中庸ノ生  
産費ヲ押ヘテ行クト云フコトガ適當デアラ  
ウト思ヒマス、併シナガラ最高生産費迄ノ  
間ノモノヲ考慮シテ、其ノ間ノモノニハ生  
産獎勵金ヲ私ハ出サナケレバイカヌト思  
フ、從來政府ハ生産獎勵金ト云フ名ノ下ニ  
五圓ノ金ヲ出シテ居ル、併シナガラ同ジ五  
圓ト云フ金ヲ一律ニ交付スルナラバ、是ハ  
生産獎勵金デヤナイ、生産獎勵金ト云フ名  
前ヲ附ケテ居リマスケレドモ、生産獎勵金ト  
云フモノハサウデヤナイ、此ノ金ヲ與ヘナ  
ケレバ生産ガ出來ナイト云フノガ生産獎勵  
金デアリマスカラ、生産費ノ高イモノニ高  
イ獎勵金ヲ出サナケレバ生産獎勵金ニナラ  
ナイ、生産費ヲ償ツテ居ルモノニモ五圓出シ

テ居ルト云フヤリ方デアリマスカラ、是ハ生産獎勵金ト云フノガ從來ノ生産獎勵金デアル  
中庸ノ生産費デ出來テ居ルモノニモ、ソレヨリモ儲カツテ居ルモノニモ、尙五圓出シテ居ルト云フヤリ方デアリマスカラ、是ハ生  
産獎勵金ト云フ名前ガ附イテ居リマスガ、是ハチットモ生産獎勵金デナイ、是ハ低物價ヲ守ッテ行ク爲ノ費用デアル、元來政府ガ高  
ク買ツテ高ク賣レバ宜シイガ、高ク賣ルコトガ出來ナイカラ、其ノ賣ルコトガ出來ナイカラ、  
ガ出來ナイカラ、其ノ賣ルコトガ出來ナイカラ、其ノ部分ヲ買値段デ高ク買フコトガ出來ナ  
イカラ、買値「プラス」生産獎勵金ト云フ名前デ金ヲ渡シテ居ル、是ハ嚴格ナル意味デ申  
シマスト、政府自身ガ或値段ヲ決メテ置キナガラ、値段ノ代金以上ニ添物ヲ付ケテ買  
フト云フコトハイケナイト云フコトハ、物價政策ニ於テ政府ハ言明シテ居ル、ソレヲ  
政府ガ裏切ツテ居ル、自分ハ安ク買ッテ置イ  
テ、ソレダケデハ農家ガ納メナイカラト云  
フノデ、是ハ生産獎勵金ト云フ名前ニ隠レ  
テ……隠レテト言シテモ宜イト思フ、一律  
テ金ヲ出しシテサウシテ米ヲ買ッテ居ル、是  
ハ政府ノ低物價政策ニ於ケル矛盾デアッテ、  
是ハ私ハ政府ハ惡イコトヲヤツテ居ルト思  
フ、是ハ誤魔化シデス、ソレハイケナイ、  
デスカラドウ云フコトガ必要デアルカト云  
フコトト、高ク買ツテ安ク賣ルト云フコト  
ガ必要デアル、ソレガ出來ナイコトニナ  
ル、從來ノ米穀統制法ノ場合ハ、最低價格  
デ買ツテ最高價格ア賣ルト云フノデアリマ  
スカラ、是ハ中間利益ヲ得ルコトニナル  
ノガ米穀統制法ノ建前デス、今度ハサウ  
ト云フコトニナル譯デアリマスカラ、今後

ノ此ノ買入値段ハ却テ高クシテ、賣渡ノ値段ガ低クナルト云フ現象ガ起ツテ來ルノガ當然デアル、是ハ二重米價デアル、今日政府ハ二重米價ト云フモノヲヤツテ居ル、サウ云フコトニナツテ來ル、又ナツテ來ナケレバナ運用ガ出來ナイ、サウ云フ譯デアリマスカラ、今度ノ案ガ最低價格、最高價格ト云フ字ヲ取タコトニ非常ニ意味付ケナケレバナラヌ、政府ハドウ云フ積リデ書イタカ知レマセヌガ、國民ハ之ヲ讀ンダ場合ニ相當ノ意味ヲ付ケテ讀マナケレバナラヌ、ダカラ買入値段ハ賣渡價格ヨリ高キコトアルベシト云フコトヲ農林大臣ガ斷言シナケレバナラヌ、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ

マセヌガ、政府ガ景物ヲ附ケテヤツテ居ルノ  
ダカラ、政府自ラガドウモ闇デモヤッテ居ル  
ト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、是ハ  
自由取引ノ時ナラ、或ハ松村議員ノ御説ノ  
ヤウナ點モ出來マスガ、全部政府ガ買ウ場  
合ニ獎勵金ヲ出シマシテモ、其ノ點ハ外ノ  
コトトハ違フデハナイカト實ハ考ヘテ居リ  
マス、色々ノ景物ヲ附ケルト云フモノハ外  
トノ賣買ノ競り合ガアリマシタ時ニ、一方  
ヲ餌ヲ以テ釣ルト云フ行キ方デアリマスカ  
ラ、政府自ラ全部買<sup>シ</sup>テシマフト云フ時ニ獎  
勵費ヲ出シマスノヘ、所謂サウ云フ闇的ナ  
經濟行爲ハナイト斯ウ信ジテ居ルノデアリ  
マス、従<sup>テ</sup>今現在政府ガヤツテ居リマスル  
生産獎勵金ヲ加ヘマシテ、サウシテ尙生産  
費ノ色々ノ點ヲ勘案致シマシテ、買入價格  
ヲ決定スル、而モ其ノ生産費ハ中庸生産費  
ガ宜イカ、最高生産費ガ宜イカト云フ問題  
ニナリマスト、無論全部今ノ米作ヲ完全ニ  
維持シテ行クト云フ爲ニハ最高生産費デナ  
ケレバナラヌノハ御説ノ通リデアリマスケ  
レドモ、サウナリマスト今御述べノ通り、  
又一面ニ於テハ生産費ヲ低下スルト云フ作  
用モ非常ニ妨ゲラレテ來マシテ、唯モウ作  
リサヘスレバ其ノ値段デ政府ガ全部買フ  
ノダト云フヤウニナリマスト、却ツテ増産上  
色々ノ支障ガ起ルト考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、從<sup>テ</sup>政府トシテハ豫メ今後ハ生産ノ前  
ニ當リマシテ、此ノ價格デ本年ハ買フ、是  
デ宜カツタラ米ヲ作ッテ吳レ、イケナカツタラ  
止メテ吳レト、或程度斯ウ云フ態度ニ出デ  
ザルヲ得ナイト思フノデアリマス、ソレデ  
ト言ヘバ、或ハ御説ノ通り獎勵金ヲ出シテ、  
又増産ヲ圖ルト云フコトモ一つノ手段デア

リマセウケレドモ、現在ノ米穀獎勵金ヲ以  
チマシテ、是ダケノモノハ一般ニ出スカラ  
ト本年ハ一ツ此ノ値段デ米ヲ作ッテ吳レト云  
フノデ、進ンデ參リタイト考ヘテ居リマス  
カラ、從來トハ少シ、ソコハ行キ方ガ違フ  
ト思ヒマス、從來ハ出來上リマス年ノ豐凶  
ト云フコトヲ十分勘案致シマシテ、最低價格  
ヲ決定致シテ居リマスガ、今度ハ作リマ  
ス前ニ、其ノ年ノ豐凶ト云フモノヲ考ヘマ  
セヌデ、或程度ノ價格ヲ決メマシテ、サウ  
シテ農村ニ向シテ、是デ一ツ米ヲ作ッテ吳レ  
ト云フ風ナ行キ方ヲ取ラウト考ヘテ居リマ  
ス、サウシテ出來上ツタモノハ、全部政府ガ  
其ノ値段デ宜ケレバ買フト斯ウ云フコトニ  
ナル譯デアリマス

カナケレバナラナイト云フ風ニ私ハ考ヘテ  
居ルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマ  
シテ、所謂自由經濟時代ニ於ケル値段ノ方  
カラ來マス所ノ生産ノ限界點ト云フ意味デ  
テ、ソコ迄達スルヤウナ工合ニ獎勵金ヲ與  
ヘナケレバナラスト云フヤウニ考慮スル必  
要ガ私ハアルノデヤナイカト思フ、ソレデ  
アリマスカラ尙是ハ考慮ヲシテ戴キタイト  
思ヒマスシ、政府ハ矢張リ是ハ何等カ色々  
ナ方面ノ知識、經驗者ヲ集メテ御研究ニナラ  
ヌト云フト私ハイカスト思フ、是ハ非常ニ  
ムツカシイ問題デアリマス、買入値段ヲ一  
本建ニスルノガ宜イカ、或程度小サイ「ブ  
ロック」ニ分ケテ、東北地方ノ買上値段ハ幾  
ラ、九州ハ幾ラ、近畿ハ幾ラ／＼ト云フ風  
ニ、又早場米ノ所ハ幾ラト云フヤウナコト  
ロック」ニ行カウト云フ傾向ガアル、  
ベク晚稻ノ方ニ行カウト云フコトハア  
ノ御考ヲ願ハナケレバナラスト私ハ思フ、  
今日政府ガ増產ヲ獎勵セラレル結果、數量  
本位デ行ツテ居ルノデ、早稻ヲ止メテ、成ル  
ガラ早イノニハ間ニ合ハナイ、早イノニ間ニ  
合ハセテソレデ高ク賣タト云フコトハア  
リマスケレドモ、今度ハ數量本位デアリマ  
ス、必ズシモサウ云フヤウナコトガ宜イノ  
デアルカ、矢張リ早ク取レル米、中手ノ米、  
或ハ晚稻ノ米ト云フ風ナ工合ニシタ方ガ、  
季節調節上安全デナイカト云フ考モ私ハス  
ル、色々ナ關係カラ考ヘマシテ、政府ガ斯  
クノ如キ管理制度ヲ徹底セラレル場合ニ、  
一本ノ買入値段デ宜イカドウカト云フコト  
モ考慮ヲ要スルト私ハ思フ、併シソレハ餘  
リ小サクナッテ、煩瑣ニナルガ、ソレモ大イ

ニ考慮ヲ要スル點デハナイカト思ヒマス、尙此ノ稻作ハ農業ノ根柢ヲ爲スノデアリマスカラ、農家ノ心持カラ言ヒマスト、損ヲシテモ作ルノデス、ソレハ又實ニ必要ナシデス、米作ガ總テノ根柢ニナッテ總テノ農作ガ伴ツテ居ルカラ、成ルベク米作ハ維持サセルガ宜イ、日本ノ建國ノ精神カラ言ツテモ、米ニ重點ヲ置カレル農業政策ガ私ハ宜イト思フノデアリマスルガ、其ノ場合ニ考ヘナケレバナラヌコトハ、近頃ハ共同施設ヲ政府於テモ共同苗代ト云フコトガ行ハレテ居ル、サウスルト害蟲ノ驅除ト云フヤウナコトニモ共同驅除ヲセナケレバナラヌ、或意味ニ於テ言ヘバ、買入値段ニ付テ、或ハ町村農會ヲ單位ニスルトカ、郡農會ヲ單位トスルトカ云フヤウナ意味ニ於テモ或意味ノ「ブル」計算ト云フヤウナコトモ考慮スルコトガ必要デヤナイカト私ハ思フ、値段ヲ決メル場合ニ於テ色々生産費ヲ背景ニシタ買入値段ヲ定メル上ニ於テハ、論及スペキコト、考慮スペキコトガ多々アルト思ヒマスクカラ、其ノ點ハ十分大臣ニモ御考へ願ツテ、唯役所ダケノ調査デナク、今度ハ色々ノ方面カラ知識經驗者ヲ集メテ御研究願ヒタイト思フノデアリマス、之ガ大體生産費ニ關スル問題デアリマス、尙詳シク申上ゲル必要モナイカト思ヒマスガ、農林省デ從來米シテ居ルモノヲ見テ値段ヲ決メテ居リマス、ソレニハ隨分高イ生産費ガアリマス、相當ヲ定メル場合ニ、生産費ヲ全國ニ亘ツテ調査要モナイカト思ヒマスガ、農林省デ從來米穀統制法デヤツテ居リマシタ標準公定價格ヲ定メル場合ニ、生産費ヲ全國ニ亘ツテ調査シテ居ルモノヲ見テ値段ヲ決メテ居リマス、高價格ガ要點ニナツテ居ルノデ、全ク米穀事

情が異ツて居ルコトハ皆様ノ御承知ノ通りアリマス、此ノ點ハ詳シイコトヲ申上ガル必要ハナイカト思ヒマス、次ニ此ノ買入價格及賣渡價格ヲ定メルニ付キマシテハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトガ書イテアル、是ハ結局米穀管理委員會トカ云ッタヤウナ性質ノモノデ、政府ハ審議セシメル御心持ノヤウデアリマスシ、是ハ議院ノ方デモサウ云フ御答辯ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、私ノ註文ハ、第三條ノ第二項ノ買入價格ヲ定ムル場合ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ勅令モ、ソレカラ第四條ノ「賣渡ノ價格ハ、勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ勅令モ、ソレカラ第十條ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ主要食糧ノ價格、加工費又ハ製造ノ料金ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト云フ其ノ勅令モ總テヲ受ケタモノガ、食糧管理委員ト云フ、出來マス組織ノ權限ニ集中シテ戴キタイト云フコトガ、私ノ一ツノ要望チノデアリマス、其ノ意味ハ第三條ト第四條トニ付テハ、一應何人モ異議ガナイコトト思ヒマス、而シテ第十條ガ非常ニ問題デアリマス、是ハ元此ノ規定ハ、米穀配給統制法ノ第四條ノ規定カラ生レテ居ルト私ハ見テ居ル、米穀配給統制法ノ第四條ニハ「政府ハ特ニ必要アル場合米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ配給統制ニ關スル命令ヲ爲スコタル規定デナイト云フコトハ、度々從來ノ米ニ關スル特別委員會デ私ハ申シテ居ル、イカナイト思フ、此ノ規定ハ最高米價ヲ決メル規定デナイト云フコトハ、度々從來ノ政府ハザウ云フコトヲ御構ヒナシニ、之ニ基イテ最高價格ヲ決メテ居ラレル、其ノ決

メテ居ラレルコトハ現在ノ事實デアリマス  
ガ、其ノ規定ヲ受ケテ今度ノ出來テ居リマ  
ス、米麥關係法規是ハ皆サンニ御配付ニ  
ナツテ居ルヤウデゴザイマスガ、ソレノ第  
六十七頁ニアリマス、之ガ私ハ非常ニ法律  
トシテヲカシイト思ヒマスガ、政府ハサウ  
云フコトヲヤツテ居ルノデスカラ仕方ガナ  
イ、ソレハ六十七頁ニ「米穀配給統制法第  
四條第一項ノ規定ニ依ル米穀ノ最高販賣價  
格ニ關スル件」斯ウ云フモノヲ出シテ居ル、  
第四條第一項ニハ米穀ノ最高販賣價格ト云  
フヤウナコトハチヨットモ書イテナイ、ケレ  
ドモ政府ガサウ云フコトノ解釋ヲシテ、  
斯ウ云フコトヲ書イテシマッテ居ル、其處ニ  
書イテアル規定ト同ジコトガ此處ニ書イテ  
アリマスカラ、是ハ政府ガ此ノ省令ヲ廢  
シ、ソレカラ米穀配給統制法ガナクナリマ  
スカラ、之ニ代ル規定トシテ此ノ十條ヲ置  
イテ、是デ米麥ノ最高價格ヲ決メヨウ、斯  
ウ云フノダト思ヒマスガ、ソレハサウナン  
デセウ……

トカ何トカ云フモノガ出来レバ、此ノ規定ノ價格ヲモ研究サレル委員會ニスルコトモ必要デアルト云フコトヲ申スノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト言ヒマスト、今日ハ第十條ノ方ノ關係ニ於キマシテ、麥、小麥、小麥粉ト云フモノハ、價格形成中央委員會デヤシテ居リマス、サウ云フ關係カラ價格形成中央委員會ノ權限ヲコチラノ方ニ移スト云フ意味ニ於キマシテモ、非常ニ意義ガアルカラ、サウ云フ意味ニ於テ取扱ヒヲ願ヒタク、是ハ從來價格形成中央委員會デハ一番大事ナ米ノ價格ハ、外テ決メテ居リマシテ、價格形成中央委員會デハ其ノ外ノ物ヲ決メテモ大シタ意義ガナイト云フ議論ガアル程、米ト云フコトニ付テハ重點ヲ置イテ居ルノデアリマスカラ、況ヤ米モ麥モ裸麦モ總テコサチノ方デヤル、其ノ點ハッキリシナイト價格形成中央委員會ノ職權ノ關係ガ出テ來ルカラ、其ノ意味ニ於テ主要食糧ノ方ハ決メルト云フコトニ御研究ヲ願ヒタイ、私ハサウ解釋シテ居マス、ソレカラ此ノ規定ハ朝鮮、臺灣ニハ施行サレナイトデハナイカト思ヒマス、結局米穀統制法デ施行シテ居リマシタヤウナ規定ダケヲ、朝鮮、臺灣ニ施行スルト云フ御考デハナイカト思ヒマス、ソレハ例ヘバ、第十一條ノ一項、是ガ統制法ノ第七條ニ當ツテ居ル、第十一條ノ第四項、是ガ統制法ノ第八條ニ當ツテ居ル、第十二條ガ統制法ノ第九條ニ當ツテ居ル、第三十七條ノ第三十二條ニ關スル件第一項テ、第二號ガ統制法ノ第十二條ニ當ツテ居ル、是ダケ末項ガ統制法ノ第十二條ニ矢張リ當ツテ居ル、第三十七條ノ第三十二條ニ當ツテ居ル、ソレト此ノ案ノ三十二條ノ第一項ガ、統制法ノ第十二條ニ當ツテ居ル、是ダケノモノヲ朝鮮、臺灣ニ施行サレルニ過ギナ

Digitized by srujanika@gmail.com

イノデハナイカト思フノデアリマス、結局食糧管理法ハ内地本位デアツテ、出來ルダケ内地ノ米穀政策ヲ強化シテ行カウト云フヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、ソレニ伴ッテ是ハ農林省トシテ御考ヘラ願ヒタノハ、米ノ獎勵費ノ方ノ關係ヲ見マスト、獎勵費ハ沖繩縣ニハヤラナイ、米穀生産獎勵金交付規則、是ノ百六十五頁、「本令ハ沖繩縣ニハ離レテ居ルト云フノハ、私ハ甚グ面白クナイト思フ、從來ハドウ云フコトニナッテ居タルト言ヒマスト、沖繩縣ハ直接ニ臺灣カラ米ノ供給ヲ受ケテ居タ譯デアリマスカラ、米穀政策ノ中デ内地ト餘程縁ガ遠カッタノデ、臺灣ノ米ノ豊富ノ時ハ送ルガ、米ニ困ルト送ラナイ、サウスルト沖繩縣ハ困ッテシマフノデ、内地カラ外米ヲ廻シテ吳レト云フコトニナッテ、内地モ困ルカラ、沖繩縣モ矢張リ農林省ノ直轄ニサレテ、臺灣總督府ト能ク協定ヲサレテ、農林省ノ指示ニ依ッテ、臺灣カラ沖繩縣ノ方へ米ヲ送ラセント云フヤウニシテ戴キタイ、ソレガ外地關係及ビ法律施行ノ範圍ニ付テノ私ノ要望ナノデアリマスガ、ドウ云フヤウナ御考デアリマセウカ、此ノ法律ハ内地、樺太ダケハ施行サレルト云フコトニナル、從來ノ自治管理制度ハ朝鮮、臺灣ニモ施行サレテ居ッタノデアリマスガ、米穀關係ノ法律ハ朝鮮臺灣ノ關係ニ於テハ今日デハ退却シタヤウナ形ニナツテ居リマスノハ私ハ非常ニ遺憾ニ考ヘル、サウ云フ點ニ付テドウ云フ御氣持デセウカ、大體ノ御考ヲ一ツ伺ヒタイ

○國務大臣(井野碩哉君) 食糧管理法ノ外地施行關係ニ付キマシテハ只今松村委員ノ御述ベノ通りデアリマス、從來ノ米穀糾制法ノ第七條乃至第九條及ビ第十二條ニ相當シマスル今回ノ管理法案ノ條文ダケハ矢張リ朝鮮、臺灣及ビ樺太ニ施行致スノデアリマス、其ノ以外ハ施行政シマセヌ、從ツテ此ノ法案ハ主トシテ内地本位ノ法案デアル、唯樺太ダケハ今回ハ少シ取扱ヲ變ヘマシタ、大體今御話ノ通りデアリマス、又沖繩ニ付キマシテハ今迄準備ガ出来テ居リマセヌノ除外シテ置キマシタケレドモ、モウ準備ガ出来マシタカラ、今年度カラハ内地ノ一部トシテ無論内地並ニ施行スル積リデアリマス

○委員外議員(松村眞一郎君) 次ニ質問ノ第二點ト致シマシテ食糧營團ノ監督ノコトニ付テ農林大臣ノ御考ヲ伺ヒタイ、ソレハ管理法案ノ第十四條ニ食糧營團ハ法人トシテ、臺灣タルト地方タルト間ハ、且樺太ニ出來マスモノモ矢張リ食糧營團ト云フ文字ノ中ニ入ル譯デアリマスガ、政府之ヲ監督スルト云フ風ニ書イテアル、其ノ食糧營團ハ中央タルト地方政府ト、且矢張リ農林省ノ直轄ニサレテ、臺灣總督府ト能ク協定ヲサレテ、農林省ノ指示ニ依ッテ、臺灣カラ沖繩縣ノ方へ米ヲ送ラセント云フヤウニシテ戴キタイ、ソレガ外地關係及ビ法律施行ノ範圍ニ付テノ私ノ要望ナノデアリマスガ、ドウ云フヤウナ御考デアリマセウカ、此ノ法律ハ内地、樺太ダケハ施行サレルト云フコトニナル、從來ノ自治管

理法ハ朝鮮、臺灣ニモ施行サレテ居ッタノデアリマスガ、米穀關係ノ法律ハ朝鮮臺灣ノ關係ニ於テハ今日デハ退却シタヤウナ形ニナツテ居リマスガ、此ノ法律ノ中ニ入ル譯デアリマスガ、余り感服ナシイカラ英米法ノ引寫シハ御免蒙ルト言ツテ反對シタ、ソンナヤウナ關係デ信託法ハナカノ難產デアリマスカ、或ハ工業組合デアルトカ、或ハ統制會デアルトカ、或ハ國策會社ト云フヤウナモノノ統制ノ趣旨デ隨分御作リニナッテ居ル、處ガ其ノ監督ハ私ハ行屆イテ居ナイト云フコトヲカ、或ハ國策會社ト云フヤウナモノノ統制ノ監督ハ私ハ行屆イテ居ナイ、アトノ監督ガド

モ達ハナイ、大體ニ於テ政府委員ノ説明モサウ云フコトニナッテ居ル、全ク營團ト同業者ノ監督ヲ御免蒙ルト言ツテ反對シタ、ソンナヤウナ説明ヲシテ居ラレル、株式會社デヤナイ、其ノ監督規定ト併セテ見マストドウモ行キ居ルカナノイデアリマスカラ、何トウモ一致シナイ、ソコデ監督規定が統一シカ政府ノ方デ監督ヲ御考ヘニナラナケレバイカヌト思フ、是ハ色々々整ツテ居ナイト云フ事例ハ澤山アリマスガ、サウ云フコトハ云フモノハナイ、今度ノヤリ方ハドウカトレ程大事ヲ取ツテ居ルノデアリマスガ、近頃シタガ、兎ニ角信託法ガ出来マシテ、サウシテ信託業法ガ出来テ居ルノデアリマス、ソレハ御届リニナラスト申シマスカ、ナモ手ガ御廻リニナラスト申シマスカ、ナカカ行届イテ居ナイ、ソレデ法制ヲ立テル場合モ近頃ハ非常ニ御忙シクアル爲カ、ル譯デアリマス、ソレハ何ノ規定ヲ準用シ

計検査院デハ會計検査院法第十三條ニ「會計検査院ノ検査ヲ要スルモノ左ノ如シ」下云  
フ所ニ第四號ニ「政府ヨリ補助金又ハ特約保証ヲ與フル團體及公立私立諸營造ノ收支ニ  
當スル、政府ハ後デ宜シイ、政府ノ方ノ配當スルコトニ當ハシナクテモ宜シイト云フノ規定ガアリマ  
スト、此ノ「補助金又ハ特約保証ヲ與フル」之ニ準ジテ會計検査院ハ検査シテ居ラレル、  
ソレデアリマスカラ國策會社ノ或モノハ會計検査院が出ラレマシテ検査ヲスル、サウ  
スルト検査ガ非常ニ必要デアル、検査ヲ受ケル方ハ會計検査院が検査ニ來ラレルト云  
フコトニナルト平常カラ非常ニ緊張スル、サウシテ惡イ所ガアレバ御注意ラレルテ良  
クヤッテ行キマセウ、之ガ眞面目ナ態度デアル譯デアリマス、此ノ事柄ハ會計検査院カ  
常ニ緊張シテ行クコトニナル、サウ云フ譯ハ是ハイケナイヂヤナカト云フ御注意モ  
アリマセウ、改良シテ行クト云フコトデ非ナニ澤山營團ト云フヤウナモノヲ御出シニ  
ナルト云フト、殊ニ此ノ食糧營團ハ貯藏ヲ  
スル、貯藏スルモノノ中ニハ是ハ餘程注意セスト徵ガ生ヘタリ、腐ッタリスルモノガ  
出テ來ル、サウ云フモノノヤリ方ヲ餘程  
「ビジネス」的ニ何ト言ヒマスカ、事業ノ行キ  
届イタ頭デ運用シナイトイケナイ、サウ云  
フヤウナ場合ニ會計検査院が出て來テ注意  
サレルト云フヤウナコトガ、非常ニ緊張ヲ  
與ヘルト思ヒマス、是ハ大體國務大臣トシ  
テ大臣ニ御聞キ願ヒタインデスガ、斯シナ

ニ澤山營團ヲ拵ヘラレル際ニハ會計検査院  
ヲ政府ノ方カラ増員デモシテ、斯ンナヤウ  
ナモノノ監督ノ人ヲ増員サセテ、色々調査  
サセルノガ宜イト思ヒマス、政府ニ任シテ  
當スル、政府ハ後デ宜シイ、政府ノ方ノ配  
當ハシナクテモ宜シイト云フノガ私ノ要望  
ニ准ジテ會計検査院ハ検査シテ居ラレル、  
ソレデアリマスカラ國策會社ノ或モノハ會  
計検査院が出ラレマシテ検査ヲスル、サウ  
スルト検査ガ非常ニ必要デアル、検査ヲ受  
ケル方ハ會計検査院が検査ニ來ラレルト云  
フコトニナルト平常カラ非常ニ緊張スル、  
サウシテ惡イ所ガアレバ御注意ラレルテ良  
クヤッテ行キマセウ、之ガ眞面目ナ態度デ  
アル譯デアリマス、此ノ事柄ハ會計検査院カ  
常ニ緊張シテ行クコトニナル、サウ云フ譯  
ハ是ハイケナイヂヤナカト云フ御注意モ  
アリマセウ、改良シテ行クト云フコトデ非  
ナニ澤山營團ト云フヤウナモノヲ御出シニ  
ナルト云フト、殊ニ此ノ食糧營團ハ貯藏ヲ  
スル、貯藏スルモノノ中ニハ是ハ餘程注意  
セスト徵ガ生ヘタリ、腐ッタリスルモノガ  
出テ來ル、サウ云フモノノヤリ方ヲ餘程  
「ビジネス」的ニ何ト言ヒマスカ、事業ノ行キ  
届イタ頭デ運用シナイトイケナイ、サウ云  
フヤウナ場合ニ會計検査院が出て來テ注意  
サレルト云フヤウナコトガ、非常ニ緊張ヲ  
與ヘルト思ヒマス、是ハ大體國務大臣トシ  
テ大臣ニ御聞キ願ヒタインデスガ、斯シナ

置キマスト政府ハ實際出來マセヌ、ソレハ  
今度ノ營團ノ規定ヲ今申上ゲマスト、營團ノ  
アリマシテ、此ノ規定ハ第三十條デ農地開發  
法ト云フモノヲ準用シテ居リマスル中ノ第  
四十條ノ準用規定、此ノ法律案ニハナイン  
ニ「第三十九條乃至第四十一條ノ規定ハ食  
糧營團ニ付之ヲ準用ス」ト云フ、其ノ中ノ  
第四十條ニアル、是ハ「主務大臣ハ農地開  
發營團管理官ヲ置キ農地開發營團ノ業務ヲ  
監視セシム」此ノ規定ガアリマスカラ、此ノ食  
糧營團ノ監督ハ只今ノ「政府之ヲ監督ス」ト  
三十條ノ末段ノ所ニ「同法第四十條中農地  
開發營團監理官トアルハ食糧營團管理官ト  
ス」斯ウ云フコトニナリマスカラ、此ノ食  
糧營團ノ監督ハ只今ノ「政府之ヲ監督ス」ト  
云フ規定ノ外ニ食糧營團監理官ガ監督スル  
ト云フコトニナル譯デアリマス、食糧營團  
監理官ハ何ヲスルカト云フト、農地開發法  
第四十條ヲ讀ムト分る譯デアリマスガ、ソ  
レハ「主務大臣ハ農地開發營團監理官ヲ置  
キ農地開發營團ノ業務ヲ監視セシム」、是  
ハ第一項、第二項ハ「農地開發營團ノ業務  
及財產ノ狀況ヲ檢查スルコトヲ得」、ソレ  
ガ第二項、第三項ハ「農地開發營團監理  
官ハ必要アリト認ムルトキハ是ト  
モ報告セシムルコトヲ得」其ノ次ノ四項ガ  
ナニ澤山營團ト云フヤウナモノヲ御出シニ  
ナルト云フト、殊ニ此ノ食糧營團ハ貯藏ヲ  
スル、貯藏スルモノノ中ニハ是ハ餘程注意  
セスト徵ガ生ヘタリ、腐ッタリスルモノガ  
出テ來ル、サウ云フモノノヤリ方ヲ餘程  
「ビジネス」的ニ何ト言ヒマスカ、事業ノ行キ  
届イタ頭デ運用シナイトイケナイ、サウ云  
フヤウナ場合ニ會計検査院が出て來テ注意  
サレルト云フヤウナコトガ、非常ニ緊張ヲ  
與ヘルト思ヒマス、是ハ大體國務大臣トシ  
テ大臣ニ御聞キ願ヒタインデスガ、斯シナ

二澤山營團ヲ拵ヘラレル際ニハ會計検査院  
ヲ政府ノ方カラ増員デモシテ、斯ンナヤウ  
ナモノノ監督ノ人ヲ増員サセテ、色々調査  
サセルノガ宜イト思ヒマス、政府ニ任シテ  
當スル、政府ハ後デ宜シイ、政府ノ方ノ配  
當ハシナクテモ宜シイト云フノガ私ノ要望  
ニ准ジテ會計検査院ハ検査シテ居ラレル、  
ソレデアリマスカラ國策會社ノ或モノハ會  
計検査院が出ラレマシテ検査ヲスル、サウ  
スルト検査ガ非常ニ必要デアル、検査ヲ受  
ケル方ハ會計検査院が検査ニ來ラレルト云  
フコトニナルト平常カラ非常ニ緊張スル、  
サウシテ惡イ所ガアレバ御注意ラレルテ良  
クヤッテ行キマセウ、之ガ眞面目ナ態度デ  
アル譯デアリマス、此ノ事柄ハ會計検査院カ  
常ニ緊張シテ行クコトニナル、サウ云フ譯  
ハ是ハイケナイヂヤナカト云フ御注意モ  
アリマセウ、改良シテ行クト云フコトデ非  
ナニ澤山營團ト云フヤウナモノヲ御出シニ  
ナルト云フト、殊ニ此ノ食糧營團ハ貯藏ヲ  
スル、貯藏スルモノノ中ニハ是ハ餘程注意  
セスト徵ガ生ヘタリ、腐ッタリスルモノガ  
出テ來ル、サウ云フモノノヤリ方ヲ餘程  
「ビジネス」的ニ何ト言ヒマスカ、事業ノ行キ  
届イタ頭デ運用シナイトイケナイ、サウ云  
フヤウナ場合ニ會計検査院が出て來テ注意  
サレルト云フヤウナコトガ、非常ニ緊張ヲ  
與ヘルト思ヒマス、是ハ大體國務大臣トシ  
テ大臣ニ御聞キ願ヒタインデスガ、斯シナ

思ヒマス、例ヘバ此ノ案デモ、第二十一條ヲ見マスト、第二十一條ノ二項ニ斯ウ云フコトガ書イテアル、「商業組合法第三條ノ六」何々ハ「前項ノ倉荷證券ニ付之ヲ準用ス」、斯ウ云フ譯デスネ、商業組合法ノ法律ヲ此處デ準用シテ居ル譯デスネ、ソレカラ第四十七條ニモアリマス、四十七條ニハ此ノ營團ガ出來ルト云フト解散ヲ命ゼラレルモノガ此處ニ書イテアリマス、「政府ハ前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ第十九條第一項ニ掲ぐル事業ト同種ノ事業ヲ行フ株式會社、商業組合、商業組合聯合會、工業組合又ハ工業組合聯合會ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ對シ其ノ解散ヲ命ズルコトヲ得」、斯ウ云フコトガアル、ダカラ商業組合ナリ、商業組合聯合會ト云フモノガ現在アッテ、ソレニ解散ヲ命ズルコトヲ得ト云フ規定ナンデスネ、現在商業組合ハ無イト云フコトヲ言ウテモ宜イ、斯ウ云フコトハ困ルノデス、ソレハ先づ東京ノ商業組合ヲ申シマスト、東京ノ商業組合、東京府商業組合ト云フコトヲ言ウテ居ルノデスガ、其ノ働イテ居ル者ハ月給取リナント、今商人ガ居チイノデス、商業組合法ヲ見ルト、商業組合ト云フモノハ商業者ヲ以テ組合スルト云フコトニナツテ居ル、然ルニ商業者ガ無イノデスカラ商業組合法ノ第一條ニアル、商業者ハ「商業組合ヲ設立スルコトヲ得」、ソレカラ東京ノ商業組合ノ中ニ働イテ居ル者ハ商業者デヤナイ、皆月給ヲ貰ツテ居ル、今日ハ東京府ニハ商業組合ハ無イノデス、無イモノガ此處ニ有ルト四十七

林省自身モ困ツテ居ラレルノヂヤナイカトモウ大臣ハ能ク御承知ナンデスガ、實際近頃法制ガウマク行カヌコトハ困ル、是ハ農思ヒマス、例ヘバ此ノ案デモ、第二十一條ヲ見マスト、第二十一條ノ二項ニ斯ウ云フコトガ書イテアル、「商業組合法第三條ノ六」何々ハ「前項ノ倉荷證券ニ付之ヲ準用ス」、斯ウ云フ譯デスネ、商業組合法ノ法律ヲ此處デ準用シテ居ル譯デスネ、ソレカラ第四十七條ニモアリマス、四十七條ニハ此ノ營團ガ出來ルト云フト解散ヲ命ゼラレルモノガ此處ニ書イテアリマス、「政府ハ前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ第十九條第一項ニ掲ぐル事業ト同種ノ事業ヲ行フ株式會社、商業組合、商業組合聯合會、工業組合又ハ工業組合聯合會ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ對シ其ノ解散ヲ命ズルコトヲ得」、斯ウ云フコトガアル、ダカラ商業組合ナリ、商業組合聯合會ト云フモノガ現在アッテ、ソレニ解散ヲ命ズルコトヲ得ト云フ規定ナンデスネ、現在商業組合ハ無イト云フコトヲ言ウテモ宜イ、斯ウ云フコトハ困ルノデス、ソレハ先づ東京ノ商業組合ヲ申シマスト、東京ノ商業組合、東京府商業組合ト云フコトヲ言ウテ居ルノデスガ、其ノ働イテ居ル者ハ月給取リナント、今商人ガ居チイノデス、商業組合法ヲ見ルト、商業組合ト云フモノハ商業者ヲ以テ組合スルト云フコトニナツテ居ル、然ルニ商業者ガ無イノデスカラ商業組合法ノ第一條ニアル、商業者ハ「商業組合ヲ設立スルコトヲ得」ト云フト、自分ハ商業組合デナイカラ解散シナイト云フコトヲ言ウタ時ニドウシマスカ、私ガ若シ商業組合ニ解散ヲ命ズルコトヲ得ト云フト、自分ハ商業組合デナイカラ解散シナイト云フコトデスケレドモ、私ハサウ云フ状態デス、サウ云フ譯デアリマスカラ商業組合ガ無イモノヲ商業組合ニ解散ヲ命ズルコトヲ得ト云フコトハ困ルノデス、サウ云フ状態デスカ、私ガ若シ商業組合ノ幹部デアレバ、餘計ナコトデスケレドモ、私ハサウ云フコトヲヤルカモ知レナイ、斯ウ云フ商業組合ハ無イノデスカラ困ルノデス、無イノニ解散組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ商業組合ナリ文字ヲ用フルコトヲ得」、斯ウ云フ譯名稱中ニ商業組合ナル文字ヲ用フベシ「商業組合ハ其ノデスガ、商業組合ニ非ザルモノガ商業組合ノ

文字ヲ皆用ヒテ居ルノデス、用フルコトヲ  
ウスルカト云フトチヤント罰則ガアル、第三十九條ニ書イテアルノデス、ソレハ第四  
條ノ二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上  
二百圓以下ノ過料ニ處ス、ト書イテアル、  
政府ハチットモ科シテ居ナイ、自分デソレ  
ヲ認メテ居ツテ、法律迄モ書イテ出シテアル  
ト云フノデスカラ因ルノデス、近頃ハ法律  
ヲ實際何ト言ヒマスカ、極ク輕ク取扱ハレ  
ル傾向ガ今アル、ソレハ宜イノデス、サウ  
云フコトハ宜イノデスカ、兎モ角サウ云フ  
ヲアリマスカラ、是ハ監督ヲセラレバ  
譯デアリマスカラ、ソレハ自然無クナツテ來ル、始終政  
府ガ監督サレルト云フト、色々ナ問題ガ起  
リマスカラ、ドウゾ……、食糧營團ハ勿論  
ノコト、全部能ク監督ヲ願ヒタイ、是ハ監  
督ヲサレマスト云フト、政府ハ色々ナコド  
ヲ、今公定相場ヲ決メテヤツテ居ラレル、  
ソレハナカヽ親切味ノアルヤリ方ヲシテ  
居ラレルノデ、生産者價格ハ幾ラ、卸賣人  
價格ハ幾ラ、小賣人價格ハ幾ラト云フノデ、  
ハ餘計ナモノヲ取ツテ居ルナト云フコトハ直  
グ分カル、是ハ少シ氣ノ毒ダナト云フコト  
出来テ居ル、ソレカラ其ノ利潤ハ定メ放シ  
デス、色々ナ事業ヲ監督サレルト云フト、是  
云フコトガアリマスカラ、ドウシテモ政府  
ノ爲サツタ仕事ノ後始末ヲ御覽ニナル爲ニ  
モ、監督ヲセラレルコトガ私ハ大事ダト思  
フ、監督ヲ受ケル者ハチットモ嫌ガッテ居ナ  
オ、監督ヲ受ケテ嫌ガルノハ何カ、下手ナ  
コトヲヤツテ居ル人デス、眞面目ナ人ハ監督  
ヲ受ケルコトヲ好ンデ居ル、ドウゾ監督シ

テ教へテ戴キタイ、善イ事ハヤツテ行キマセウ、惡イ事ハ改メテ行キマセウ、是ハ立派ナル態度デス、役人モ亦サウデス、監督ニ行クテ斯ウ云フ缺點ガアツカラト云ツテソレヲボジッタコトヲ功名額ヲシテ居ツタラソレハサウ云フ缺點ヲ持ヘル迄何ヲシテ居ツタカ、ト云フコトニナリマス、チヨットモ名譽デモ何デモナイ、或處ニ監督ニ行ツテ、何カホジツテ來テ、エラク監督シテ來タト思フ本人ガアルナラバ、監督シテ來タト云フノハ、今迄ニ監督シナカッタ證據ナンデスカラ、サウ云フコトハ餘程監督スル者モ考ヘナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、ドウゾ監督ヲ十分ヤッテ戴キタイト云フコトガ私ノ要點デス、マア大臣ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ。

少シ違ヒマスガ、一本建ニナツテ居リマスカラ、其ノ點ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ尙商業組合ノ第一條ニ、商業組合ガ無イニデヤナイカト云フ御話デゴザイマスガ、商業組合ハアルノデアリマス、ソレカラ商業組合ヲ組織スル所ノ商人ガナインデヤナイカト云フ御意見デアツクノデアリマスガ、商人ニ對シマシテモ、今日ハ營業税ヲ取ツテ、矢張リ商人ト云フモノハアルコトヲ前提ニ總テノ機構ガ致シテアリマス、従テ商人モアリ、商業組合モアル、アルモノニ解散ヲ命ズルト云フヤウニ、政府トシテハ了解致シテ居リマス、其ノ點一、二申上ゲテ置キマス

特別會計カラ致シマス、政府出資特別會計ト云フ會計ガゴザイマス、アノ會計カラ出スコトニナツテ居リマス、ソレカラ獎勵費ハドウスルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ當分ハマダ一般會計ノ方カラ出シテ参リタイト云フ積リデ居リマス

○委員外議員(松村眞一郎君) 私ノ質問ハ  
是デ終リマス

ノデス、是ハドウナンデスカ、非常ニ困ルコトグラウト思ヒマスガ、將來ドウナサル積リデゴザイマスカ

○國務大臣(井野碩哉君) 瓦斯用ノ木炭ハ  
御承知ハ通り、最近非常ニ需要ガ殖エマシテ、  
從來二三千萬貫デアッタモノガ、一億貫近ク  
モ需要ガ殖エテ參リマシタノデ、其ノ生産  
ニ馬力モ掛け、配給統制モ色々致シテ居ル  
ノデアリマスケレドモ、併シ現在ノ状態デ  
マダドンヽ植エルト云フヤウナコトニナ

少シ違ヒマスガ、一本建ニナツテ居リマスカラ、其ノ點ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ尙商業組合ノ第二條ニ、商業組合ガ無イノニ斯ウ云フ解散ノ命令ヲスルノハヲカンイデヤナイカト云フ御話ゴザイマスガ、商業組合ハアルノデアリマス、ソレカラ商業組合ヲ組織スル所ノ商人ガナイデヤナイカト云フ御意見デアツクノデアリマスガ、商人ニ對シマシテモ、今日ハ營業税ヲ取シテ、矢張リ商人ト云フモノハアルコトヲ前提ニ總テノ機構ガ致シテアリマス、従ツテ商人モアリ、商業組合モアル、アルモノニ解散ヲ命ズルト云フヤウニ、政府トシテハ了解致シテ居リマス、其ノ點一、二申上ゲテ置キマス

ト云フ會計ガゴザイマス、政府出資特別會計  
スコトニナツテ居リマス、ソレカラ獎勵費  
ハドウスルカト云フ御尋デアリマシタガ、  
是ハ當分ハマダ一般會計ノ方カラ出シテ參  
リタイト云フ積リデ居リマス

○委員外議員(松村眞一郎君) 私ノ質問ハ  
是デ終リマス

○子爵富小路隆直君 木炭ニ關スル法案ニ  
付テ伺ヒタイノデスガ、「据置運轉資本ニ不  
足アルトキハ九百萬圓ヲ限リ借入金ヲ爲シ」  
ト云フコトガ述べテアリマス、不足ガ多分  
アルカラスウ云フコトヲ御出シニナツタノダ  
ラウト思ヒマスガ、其ノ事情ヲ伺ヒタイ、ド  
ウ云フ所ニ不足ガアルカ、ドウ云フヤウニサ  
レルノデスカ、其ノ木炭ノ九百萬圓ヲ補足サ  
レタ理由ニ付テ、モウ少シ詳シク承リタイ  
○國務大臣(井野碩哉君) 大體私カラ御答  
ヘ申上ゲマシテ、尙御不満足デゴザイマシ  
タラ、局長カラ御答ヘ申上ゲマスガ、大體  
三千百萬貫ノ木炭ヲ買入レルト云フ爲ニハ、  
一千萬圓ノ運轉資金ガゴザイマセヌト、此  
ノ會計ガ動カナイノデアリマス、從來百萬  
圓デアリマシタガ、ソレデハ迪モ動カナイ、  
從ツテ從來ハ木炭買入量モ少カツタノガ、今度  
ハソレダケ殖エマシタ、從ツテ運轉資金ノ額  
繰入レル、其ノ繰入ノ財源調達方法トシテ此  
ノ法律ガ要ルコトニナツテ居ルノデアリマス  
マス、尙借入金ヲスルノハ、一般會計カラ  
タイノデスガ、木炭ガ現在山ダノ農村ニハ  
澤山アルガ、運輸其ノ他ノ關係デナカノ  
出テ來ナイ、今アル處ニハダブ付イテ居ル

○國務大臣(井野頑哉君) 木炭ノ集荷配給  
狀況ニ付キマシテハ、今迄ハ十月カラ四月  
ニ掛ケマシテ色々ノ操作ヲ致シテ居ツタノ  
デアリマスガ、昨年カラ一年ヲ通ジマンテ  
生産計畫、配給計畫ヲ作りマシテ、毎月毎  
月集荷配給ヲ致シテ參リマシタノデ、比較的  
順調ニ進ンデ參ッタノデアリマス、處ガ最近  
ハ「ガソリン」ノ不足其ノ他色々ナ資材ノ不  
足カラ配給機關ニ色々ナ故障ガ出來マシタ  
ノデ、山元ニ炭ガ溜マルト云フヤウナ現象  
モ生ジタコトハ御説ノ通リデアリマス、政  
府トシテハ、斯ウ云フコトガアッテハナラヌ  
ト考ヘマシテ、各地方ノ、或ハ學生ノ勞力、  
デアルトカ、其ノ他色々ナ勞力ヲ動員シマ  
シテ、山元ノ炭ヲ驛迄持ツテ來ルト云フコト  
ニ努力致シマシタ、鐵道省ハ非常ニ木炭、  
米等ニ付キマシテハ、配車關係ニ於テ優先  
的ナ操作ヲ考慮サレテ居リマスカラ、驛ニ  
サヘ出テ參リマスレバ、必ズ其ノ炭ハ消費  
地ニ向ツテ流レルヤウニナツテ居リマス、唯  
山元カラ驛迄ノ狀態ガ、今申シタヤウナ事  
情デアリマス、是ハ段々ト「ガソリン」モ幾  
分カサウ云ツタ方面ニハ特配ヲ致シテ居リ  
マスカラ、驛迄ノ運輸機關等ガ動イテ參リ  
マスレバ、今御懸念ノヤウナコトハ解消シ  
テ來ル、斯ウ考ヘテ居リマス  
○子爵富小路隆直君 一應此ノ程度デ止メ  
テ置キマス

○國務大臣(井野碩哉君) 瓦斯用ノ木炭ハ  
御承知ハ通り、最近非常ニ需要ガ殖エマシテ、  
從來二三千萬貫デアッタモノガ、一億貫近ク  
モ需要ガ殖エテ參リマシタノデ、其ノ生産  
ニ馬力モ掛け、配給統制モ色々致シテ居ル  
ノデアリマスケレドモ、併シ現在ノ状態デ  
マグドンヽ植エルト云フヤウナコトニナ  
リマスト、逆モソレニ應ズル瓦斯用木炭ハ  
ゴザイマセヌ、従ツテ現狀以上ニハ進ミ得ナ  
イト云フ状態デアリマスノデ、若シモ是以  
上代用燃料デ行クト云フコトニナリマスレ  
バ、支那ノ陽泉炭デアルトカ其ノ他、他ノ  
代用燃料ヲ以テ補ツテ行クヨリ仕方ガナイ  
ト思ヒマス、併シ大體重油其ノ他石油對策  
モ、政府トシテハ全般的ニ考慮シテ參ツテ居  
リマスルカラ、是以上瓦斯用木炭ガ非常ニ  
需要ガ殖エルトモ今考ヘテ居リマス  
テ現在ノ事情ヲ或程度適當ニ考慮シテ參リ  
マスレバ、其ノ配給モサウ不圓滑ニナラズ  
ニ進ミ得ルモノト考ヘテ居リマス  
○佐藤助九郎君 適正小作料ノ問題ニ付テ  
少シ御伺ヒシタノデスガ、モウ時間ガア  
リマセヌガ、月曜日ニデモ更ニ質問ガ出來  
ルノデスカ  
○委員長(伯爵酒井忠正君) 大體今日御質  
問ヲ終リ、月曜日ニ若シ残リガアッタラ、ソレ  
ヲ願フト云フ位ノコトニ致シタラドウカト  
思ツテ居リマス、尤モ是ハ私ダケノ考デゴザ  
イマスガ……

タモノモアルノデアリマスガ、此ノ決定サ  
レタノヲ見マスト、ドウモ果シテ適正デア  
ルカドウカ、ドウモ適正ヲ缺クノモアルヤ  
ウデアリマス、現ニ此ノ問題ニ付キマンテ  
ハ各方面カラ色々陳情ガアルノデアリマ  
スガ、大體此ノ小作料ト云フモノハ廢藩  
置縣以來、田一枚々々ニ付テソレドヽ歴史  
ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、一朝一夕ニ  
勝手ニ小作料ガ出來タモノデハアリマセ  
ス、勿論雙方合意ノ結果穩便ニ出來タモノ  
ガ大部分デアリマス、然ルニドウモ決定シ  
タモノヲ拜見致シマスト云フト、二、三ノ  
不當ナ例ヲ標準ニシテ、ソレヲ全面的ニ應  
用シテ決マッタモノガアルヤウニ思ハレマ  
ス、是等ニ付テハ色々陳情ガアルノデアリ  
マズガ、先程松村委員カラ仰セラレタ通り、  
之ニハ行政訴訟ノ手續モアリマセヌシ、  
決ッタラソレキリデアリマス、斯カル横暴ト  
申シテハ諸弊ガアルカモ知リマセヌガ、果シ  
テ適正デアルカ否カ、ソレヲ十分見究メズニ、  
全面的ニ現在ノモノヲ一網打盡修正シテ行  
クト云フコトハ、是ハ取りモ直サズ平和チ  
農村ノ擾亂デアリマシテ、殊ニ御氣ノ毒ナ  
ノハ、中產農家デアリマシテ、此ノ爲ニ殆  
ド收入ノ大半ヲ奪ハレルト云フコトニナリ  
ハシナイカ、斯ウ云フ懸念ヲ多分ニ持テ  
居ルノデアリマス、今陳情ノ一例ヲ申シマ  
スルト、秋田縣ノ三重村ノ例デアリマスガ、  
現在實收シテ居ル小作料ヨリカ二割七分、  
甚シイノハ四割ノ減率ニナルノデアリマス、  
斯ウ云フ風ニナリマスト、結局其ノ人ハ四  
割ノ收入減ニナリマスノデ、自分ノ生活ノ  
脅威ヲ受ケルコトガ甚シイノデアリマス、  
而モ之ヲ地方長官ガ縣令デ發令シテシマヘ  
バソレキリデアリマスガ、監督官廳デアラ

レル農林省ガ、斯カル場合ニハ十分ソレ等  
不當デアル場合ハ勿論訂正スルト云フ風ニ  
收穫ヤ其ノ實收額ナドヲ参考ニサレマシテ、  
從來ノモノガ適正デアレバ其ノ儘存續シ、  
オキリニナツタ方ガ最モ適正デハナカラウ  
カト思フノデアリマス、諄イ話デアリマス  
ガ、何モ起ツテ居ラヌ平和ナ村ニ之ガ爲  
ニ態、小作爭議ヲ起サスヤウナコトニモナリ  
マスシ、是ハ又延ヒテ増産ニ邁進スペキ村  
ヲ減產ニ導クコトニナルト思フノデアリマ  
ス、是等ノ點ニ付テ政府御當局ハドウ云フ  
風ニ御考ニナツテ居リマスカ、一應御意見  
ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣（井野碩哉君） 適正小作料ノ問  
題ニ付キマシテハ、農林省トシマシテハ極  
メテ慎重ニ色々考究ラ重ネテ居ルノデアリ  
マスガ、之ヲ全國的ニ一律ニ或程度ノ標準  
ヲ示セト云フ御希望モアルノデアリマス、  
併シナカヽ小作料ハ今御話ノ通り色々ノ  
沿革ヲ持ツテ進ンデ來テ居リマスノデ、唯  
一律ニ理論ノミデヨリ決シ難イ色々ノ事情モ  
アリマスノデ、今大體政府トシテノ行キ方  
ハ、小作料等統制令ニ依リマシテ、現在ノ  
小作料ヲ引上ゲルト云フコトハ抑制シテ居  
リマス、又其ノ府縣ニ於テソレ等ノ現在ノ  
小作料ニ比較致シマシテ、不當ニ高イト云  
ノヤウナ問題ガ各府縣ノ中ニハ二、三其ノ  
フヤウナモノニ付テハ、或程度ノ引下ゲヲ  
講ジ得ルヤウナ權限モ地方長官ニ興ヘテ居  
リマスガ、其ノ運用ニ當リマシテ、今御話  
ノヤウナ問題ガ各府縣ノ中ニハ二、三其ノ  
例ヲ聽クノデアリマスガ、併シ政府トシテ  
ハ、大體地方廳ガ發動致シマスルニモ、府  
縣ニ於ケル農地委員會ノ議ヲ經マシテ、地  
主ノ方モ加ツテ居ラレル其ノ委員會デ纏リ

マシタモノデアレバ、政府モ大體之ヲ認メ  
テ居リマス、從ツテ各府縣ニ於キマスルサウ  
云ツタヤウナ事例ニ付テハ、其ノ農地委員會  
會ノ議ヲ經テ居ルカドウカト云フコトヲ調  
査シテ、大體今迄ハ農地委員會ノ議ヲ經タ  
モノニ付テ認可シテ居リマス、偶々農地委  
員會ノ構成ナリ、或ハ開ク方法等ニ付テ穩  
當ヲ缺クト云フヤウナ場合モアリマシテ、  
サウ云フ點ハ十分縣廳ニモ注意ヲ致シ、實  
際地主ト小作人ト相俟ツテ相共ニ改善シテ  
行カウト云フヤウナモノナラバ認メテモ宜  
イガ、全ク平和ノ村ニ波亂ヲ起スト云フヤ  
ウナコトハ、極力避ケナケレバナラヌト云  
フヤウナ方針デ本省ハ進ンデ居リマス、地  
方ニ依ツテハ多少ノ行過ギタモノモアツタヤ  
ウデアリマスガ、ソレ等ハ本省カラ注意モ  
致シ、是正ラシタモノモアリマス、今後モ  
サウ云ツタヤウナ氣持デ進ミタイト思ヒマ  
ス

ノ問題ハ國民ノ體位向上ト非常ニ關係ガ  
アツテ、現在今迄ハ田舎ノ山ノ中ニハ入ラ  
ナイ、是ハ全クノ個人的ナ話デアリマス  
ガ、政府當局ニ向シテ魚ノ運賃ヲ無賃ニシテ  
戴キタイト云フ話ヲシテ居ルノデスガ、  
ソレニシテモ魚ノ配給機構ノ相當シッカリ  
リシタモノガナイト、中間商人ガ儲ケ  
テ來ルデセウカラ、農林省ノ方デシッカリ  
シタ配給機構ヲ設ケラレテ、鐵道省ノ左  
デ出來ルルナラバ無賃、已ムヲ得ズンバ割  
引位上カラ必要ダト思フノデスガ、サウ  
平ニ分配サレテ行ク、勿論鰯ノ如キハ全部  
國民ニ食ハセルト云フコトハ、國民體位向  
上ノ運賃ニシテ、日本中何處デモ魚ガ久  
云フ見地ニ於テ農林省ノ方デ何カ將來魚ノ  
配給ニ付テ、適當ノ御考ガアルカドウカト  
云フコトヲ此ノ際伺シテ見タイト思ヒマス  
○國務大臣(井野碩哉君) 全ク御尤モノ御  
意見デ、私共モ殊ニ農村ノ現狀カラ見マシテ  
魚介類ヲ多ク農村ニ廻スト云フコトニ付テ  
ハ努力ヲ致サナケレバナラヌト思フノデア  
リマス、從ツテ其ノ配給機構等ニ付キマシテ  
モ、現在先ヅ六大城市ノ配給機構ニ付テハ  
ニナリ、配給機構ヲ致シテ居リマスガ、サ  
ウ多クノ利潤ヲ取シテ廻シテ居ルノデハ、ナ  
イト信ジテ居リマス、併シ今後魚ノ量ノ殖  
エ方ニ從ヒマシテ、サウ云々タ點ニ付キマシ  
テモ十分考慮致シテ參リタイト考ヘマス

構ガ出來テ居ルノデアリマスカ、今御話ノ  
アルヤウニ地方々々ノ、都市ハ都市、農村  
ハ農村ノ組合ト云フモノガ分配ヲシテ居ル  
ノデアリマスガ、全國ニ公平ナル分配ヲス  
ルト云フヤウナ機構ガナイヤウニ考ヘラレ  
ルノデスガ、矢張リサウ云フコトヲ將來考  
ヘマスト云フト、農林省ニ於テ適當ナ機構  
ヲ、日本全國的ナ機構ヲ、少クモ九州ナラ  
九州、本土ナラ本土、或ハ本土ヲ二、三ニ  
分ケルト云フヤウナ、相當纏ツタ機構ガ必要  
ニナツテ來ルト思ヒマス、ソレガ出來マセヌ  
ト今申上ゲタヤウニ下關ノ魚ヲ東北ニ無質  
デ送ルト云フヤウナ時分ニ、一般的ナ公平  
ナ配給ガドウモ出來ナイヤウニ考ヘラレ  
マスガ、假ニサウ云フ風ニナツテ參リマシタ  
時分ニハ、日本全國的ニ魚ノ配給ノ公平ヲ  
期スルト云フ機構ヲ御考ヘ下サルヤウナ御  
氣持デセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタタイ

其ノ地方ノ都市ニハ幾ラト云フ風ニ率ヲ決メテ、大體獲レマシタ割合ニ應ジテ流スヤウナ仕組ニシテアル譯デアリマシテ、是ハ只今百七十箇所ゴザイマス、一面ニ於テ六大城市ノ方ハソレヲ受ケマス方ノ配給統制協議會ガ出來テ居リマス、ソレハ例ヘバ東京ニシマスレバ東京ノ此フ配給統制協議會デ受ケマシタ荷ヲ東京市デ幾ラ、横濱デ幾ラ、川崎デ幾ラト云フ風ナ數量ヲ大體決メテ居リマシテ、ソレニ從ツテ毎日ノ配給量ヲ流シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、今ノ所全國的ニ獲レタ魚ニ付テノ分配方法ナリ、率ハ大體決ツテ居ルノデアリマス、ケレドモ唯魚ガ少イ、思フ通り獲レテ來マセヌ爲ニ、今日ハ幾分カ各方面デ十分ナル供給ニ困難ヲ感ジテ居ルヤウデスガ、併シ將來ドン／＼獲レテ參リマスレバ、サウシテ其ノ機構ガウマク動イテ參リマスレバ、全國的ニ公平ナル分配ガ出來ルト思ヒマシテ、今サウ云フヤウナ制度ガ出來テ居リマスル方ノ協議會ハソレデ結構デスガ、發送スル方ノ協議會ニ對シテハ農林省トシテドノ縣ニ何ンボ、ドノ縣ニ何ンボ發送シロト云フコトヲ御命令ニナラレル機構ニナツテ居ルノデスカ

○宮田光雄君 ソレニ付テ、マア魚ノ配給  
トカ、其ノ他運搬トカト云フコトモアリ  
マスガ、漁獲高ガ非常ニ減少シテ居ルト云  
フコトガマア非常ナ大キナ原因ダト思フノ  
デスガ、ソレニ付テハア、云フ大海デ物  
ヲ獲ルノデスカラ、今差當リ豚其ノ他牛  
肉類ニ不足シテ居ルノデスガ、マア日本  
ノ國情トシテハ海ノ物ヲ獲ツテサウシテ榮  
養ヲ補給スルト云フ風ニスルノニハ、ソレ  
ニ付テハ今統制ヲヤルトカ合同ヲヤルトカ  
ト云フコトヲシテ、サウシテヤルヨリカ寧  
ロ多少自由ニシテ、或ハ將來ニ對シテハ稚  
魚ヲ獲ツタリ何カシテ或影響ヲ及ボスカモ  
知レスガ、先ヅ一時ノ應急策トシテハ努メテ  
競争セサセデモ獲レルダケ獲ツテ、サウシテ  
供給シテ今日ノ急場ニ應ズルト云フヤウナ  
ヤリ方ヲシテ行ク方ガ宜イノヂヤナイカ  
ト云フヤウナ、是ハモウホンノ即座のノ者  
ヘデスガ、ドンナモノデスカ

或ハ漁獲ヲ色々禁ジテ居リマスル區域等ノ解除等ニ依リ、又或ハ徵用サレテ居リマスル漁船ノ返還ヲ待チマシテ、相當ニ各方面ニ重點ヲ置イテ漁業ヲヤシテ參リマスレバ、今稚魚トカ、其ノ他禁ジテ居ルモノヲ解除シテ殖ヤスト云フ行キ方ニハ進ミタクナイト考ヘテ居リマス

○内田重成君 極ク簡單デアリマス、此ノ食糧管理法ノ中デ、四十七條ノ第二項ニアリマスル政府ハ「第十九條第一項ニ掲グル事業ト同種ノ事業ヲ行フ株式會社、商業組合、商業組合聯合會、工業組合又ハ工業組合聯合會ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ對シ其ノ解散ヲ命ズルコトヲ得」ト云フ規定ノ由ニ、米穀自治管理法ニ依リマスル米穀統制組合ト云フモノガ入ツテ居ナイノデスガ、此ノ統制組合ハ現時非常ニ少トイト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマスルガ、全國的ニ全然ナイモノトハ考ヘラレナイヤウニモ考ヘマスガ、此ノ四十七條ノ中ニ米穀統制組合ガ書イテナイヤウデアリマスガ、是ハドウナリマスデセウカ、ソレヲチョット承リタイノデアリマス

○政府委員(湯河元威君) 米穀統制組合ハ自治管理法ノ廢止ト共ニ、消滅サセルト云フ考ヲ持ツテ居リマスノデス、別ニ商業組合ヲカ、或ハ工業組合ト云フヤウナモノノ如クニ、四十七條以下ノ規定ニ依リマシテ、此ノ營團ニ吸收サセルト云フ豫定ヲ持ツテ居リマセヌノデ、是ハ四十五條ノ第三項ノ規定ニ於キマシテ、勅令ヲ以テ米穀自治管理法廢止ニ必要ナル規定ヲ置キマシテ、其

六音之分，如古云：「子、女、商、角、徵、羽」此謂子、女、商、角、徵、羽六音也。

ノ際ニ消滅ト申シマスカ、解散ト申シマス  
カニシテ、又債務、財産ノ規定ニ付テ必要  
ナル規定ヲ設ケテ別ニ處理シタイ、斯ウ考  
ヘテ居リマス

○内田重成君（湯河元威君）サウ致シマスト四十七條ノ  
第二項ノ、同種ノ事業ヲ行フ株式會社ト云  
フ中ニハ、日本米穀會社ハ入ラナイコトニ  
解釋致シテ宜シノデスカ

○政府委員（湯河元威君）是ハ詰リ同種ノ  
事業ヲ行フ株式會社、斯ウ規定シテゴザイ  
マシテ、別ニ勅令ヲ以チマシテ日本米穀株  
式會社ヲ指定致シタイト考ヘマス

○内田重成君 サウ致シマスト、今ノ米穀  
自治管理法ニアル米穀統制組合ニ對スル取  
扱ト違フ譯デアリマスルガ、サウスルト米  
穀自治管理法ノ統制組合ハ四十七條ノ第三  
項ノ解散ニ依ル權利義務ノ關係ガ、又別ノ  
勅令ノ中ニ御書キニナルト云フコトハ如何  
カト思ヒマスガ、ドウデスカ

○政府委員（湯河元威君）是ハ先程御答ヘ  
申上ゲマシタノデスガ、四十五條ノ第三項  
デ「第一項ニ掲グル法律ノ廢止ニ關シ必要  
ナル規定ハ勅令ヲ以テヲ定ム」トアリ、此  
ノ米穀自治管理法ヲ廢止致シマスト、米穀  
自治管理法ニ依ツテ設立シテ居リマシタ米  
穀統制組合ノ存立ノ基礎ガ無クナリマスカ  
ラ、其ノ法人ガ消滅スルト云フコトハ當然  
豫想サレマス、從ヒマシテ其ノ權利義務ヲ  
如何ニ處分スルカト云フコトヲ、此ノ廢止  
ニ伴ヒ必要ナル規定ヲ勅令規定デ定メル、  
斯ウ云フ考デアリマス、實質的ニ申シマス  
ルト自治管理法ニ基キマル米穀統制組合  
ハ、同種ノ事業ト云フ譯ニモチヨット行ク  
認メマシタ場合ニ、所謂自治的ニ物ヲ貯藏

スル組合ナノデアリマス、平常的ニ主要食糧配給ヲヤツテ居リマス、ソレハ四十七條第二項ニ規定シテアリマス法人トハ性質ガ違フノデアリマス、從ヒマシテ吸收シナインモ宜シイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス  
○内田重成君 私、少シ考ヲ違ヘテ居リマスケレドモ、此ノ米穀統制組合ト云フモノガ全然ナケレバ宜シウゴザイマスガ、アルト致シマスト、矢張リ自治管理法ニ依ル統制組合ニ對シテハ、組合員ニ資金ノ融通ヲ致シテ居ルヤウデアリマスノデ、サウスルト其ノ間ニハ組合トノ關係ニ於テ権利義務ノ關係ガ相當ニ多イグラウト思フノデアリマス、全國的ニ見テサウ云フモノガ全然ナケレバ宜シウゴザイマスガ、アルトナルトドウモ此處ニ私ハソレダケ除クト云フコトガ少シドウカト思フノデゴザイマスガ、ト言フノハ現ニ四十五條ノ三ノ米穀自治管理法モ此ノ法律ニ依ツテ廢セラレル、是ガ同種ノ事業ヲ行フ此ノ種ノモノデナイト云フ解釋ニハチヨットムツカシカラウト思フノデアリマスガ、併シ其ノ點ハ何カ調整ノ途ガ付キマスレバ、此ノ四十五條ノ末項ノ規定ニ依ツテ處理ガ付イテ、權利義務ノ關係モソレデ整理ガ付キマスレバ、之ヲ強ヒテ今ドウシヨウト云フ考ハ持チマセヌガ、一應其ノ點ダケヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラモウ一點、是ハ木炭ノ方ニ關シマスルガ、木炭ノ生産ニ付キマシテ、前年度ノ豫定額通リニ木炭生産量ガ參ツテ居リマスカドウカ、ソレト來年度ノ木炭生産量ニ付キマシテ、御豫定ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、此ノ點一ツ伺ヒタイト思ヒマス

立デマシテ、實際出來マシタノハ八億萬貫  
デアリマスガ、大體目標ニ近イ生産ヲ達ゲ  
テ居リマス、明年度ハ八億四千萬貫位ヲ目  
標ニ矢張リ生産サセタイト考ヘテ居リマス  
○内田重成君 明年度ハソレニ加ヘル特別  
生産ノ目標ガアッタヤウニ考ヘテ居リマス  
ガ、十一億ナドト云フヤウナ御豫定ガアッタ  
ヤウニ、此ノ前ノ議會デ承ッタノデゴザイ  
マスガ、サウ云フコトハゴザイマセヌカ  
○國務大臣(井野頼哉君) 十一億ナドト云  
フコトハゴザイマセヌ、八億三千萬貫ガ目  
標ニナツテ居リマス

○内田重成君 ソレハ明年度デゴザイマス  
カ

○國務大臣(井野頼哉君) 本年度デゴザイ  
マス

○内田重成君 御承知ノ通リ山林ノ荒廢ハ  
年々非常ニ目ニ著クヤウニ考ヘラレルノデ  
アリマスガ、之ニ付テ一番必要ナノハ植林、  
國土保安ノ上カラ見テモ此ノ植林ノ計畫ガ  
大變必要ト思ヒマスガ、來年以後特別ニ此  
ノ植林方面ニ付テ何力特別ナ豫算ノ増額等  
ガオ有リニナリマスルカドウカ、私ハ豫算  
書ヲマダ十分ニ研究致シテ居リマセヌノ  
デ、チヨット伺ツテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(井野頼哉君) 今御述ノ通リ木  
炭バカリデナク、木材ノ爲ニ相當ニ木ガ伐  
ラレテ居リマス、一つハ治水事業費デアリマ  
ス、荒廢シマシタ林地ノ開發、茲ニ未立木  
地等ノ造林等ニ付テノ施設ヲ昭和十二年カ  
ラ十二箇年計畫デ、約八千萬圓ノ經費ヲヤツ  
テ居リマス、是ハ毎年著々ト仕事ヲ實施致

シテ居リマス、ソレガ一ツデアリマス、モ  
ウーツハ民有林ノ造林ニアリマシテ、從來  
七十萬町歩程ノ民有林ノ造林ヲヤッテ居リ  
マシタガ、昨年カラ五箇年ニ百三十萬町歩  
ノ新シイ民有林ヲ造林スルト云フコトデ、  
約五千萬圓ノ計畫デヤッテ居リマス、是ハ昨  
年議會ニ協賛ヲ得マシテ、結局百三十萬町歩  
歩ノ民有林ノ造林ヲ致スコトニナッタノデ  
アリマス、ソレニ依リマシテ造林ノ計畫ヲ  
致シマシタ、本年ノ豫算ニハ災害防止林ノ  
五箇年ノ計畫ヲ新タニ立テマシタ、是ハ五  
箇年間ニ約二千萬圓ノ金デ、相當面積ノ災  
害防止林ヲ致サウト云フコトデ、是ハ新規  
ノ計畫デアリマス、本年之ヲ計畫致シマシ  
タ、サウ云々タヤウナ三ツノ方向カラ治山治  
水ノ問題ハ農林省ノ方デ苦心ヲ致シテ居リ  
マス

午後三時二十八分散會  
出席者左ノ如シ

食糧管理局長官 湯河 元威君  
拓務省殖產局長 竹内 德治君

委員長 伯爵酒井 忠正君  
副委員長 男爵大藏 公望君  
委員  
公爵一條 實孝君  
侯爵前田 利爲君  
侯爵徳川 賴貞君  
子爵富小路 隆直君  
子爵織田 信恒君  
子爵安藤 信昭君  
子爵松平 康春君  
子爵土岐 章君  
宇佐美勝夫君  
内田 重成君  
男爵三須 精一君  
男爵坊城 俊賢君  
男爵杉溪 由言君  
宮田 光雄君  
有賀 光豐君  
次田大三郎君 千石興太郎君  
佐々木長治君 佐藤助九郎君  
柴田兵一郎君

委員外議員

松村眞一郎君

國務大臣

農林大臣兼拓務大臣 岸 良一君  
農林省農政局長 井出 正孝君  
農林省山林局長 辻 謹吾君

政府委員

農林次官 三浦 一雄君  
農林大臣兼拓務大臣 井野 碩哉君  
農林省農政局長 岸 良一君  
農林省山林局長 井出 正孝君  
農林省食品局長 辻 謹吾君

昭和十七年二月九日印刷

昭和十七年二月十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局